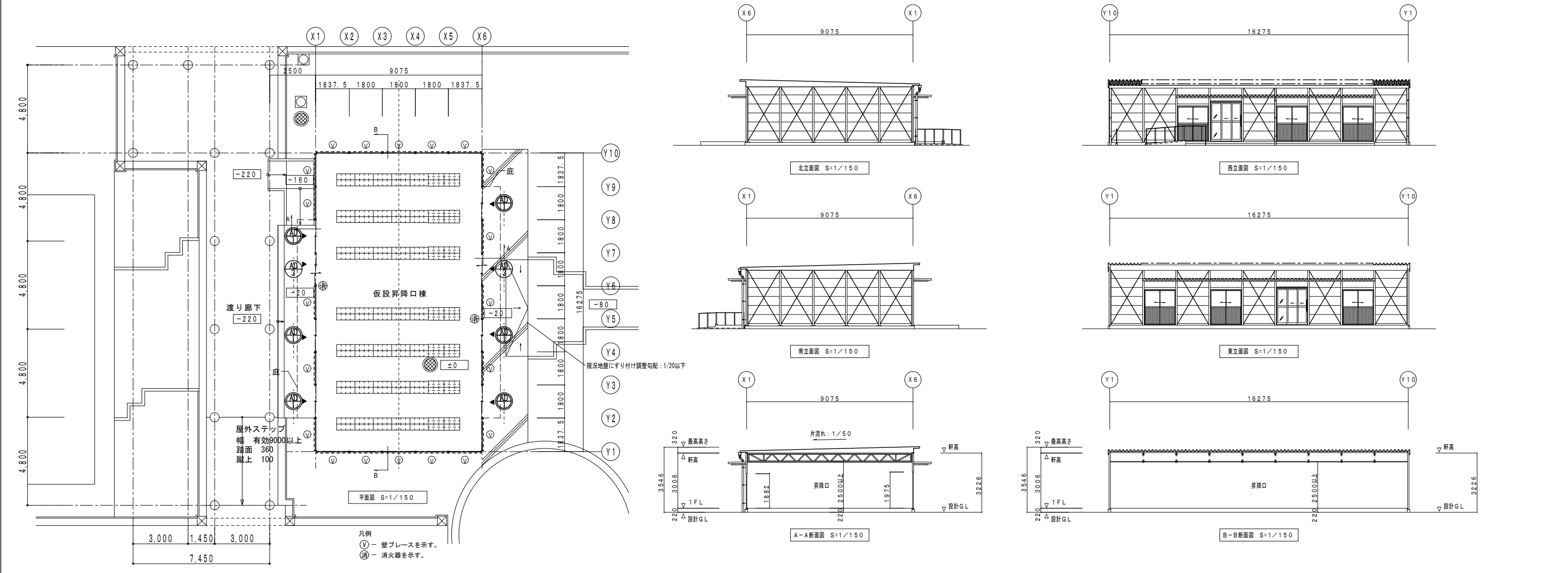
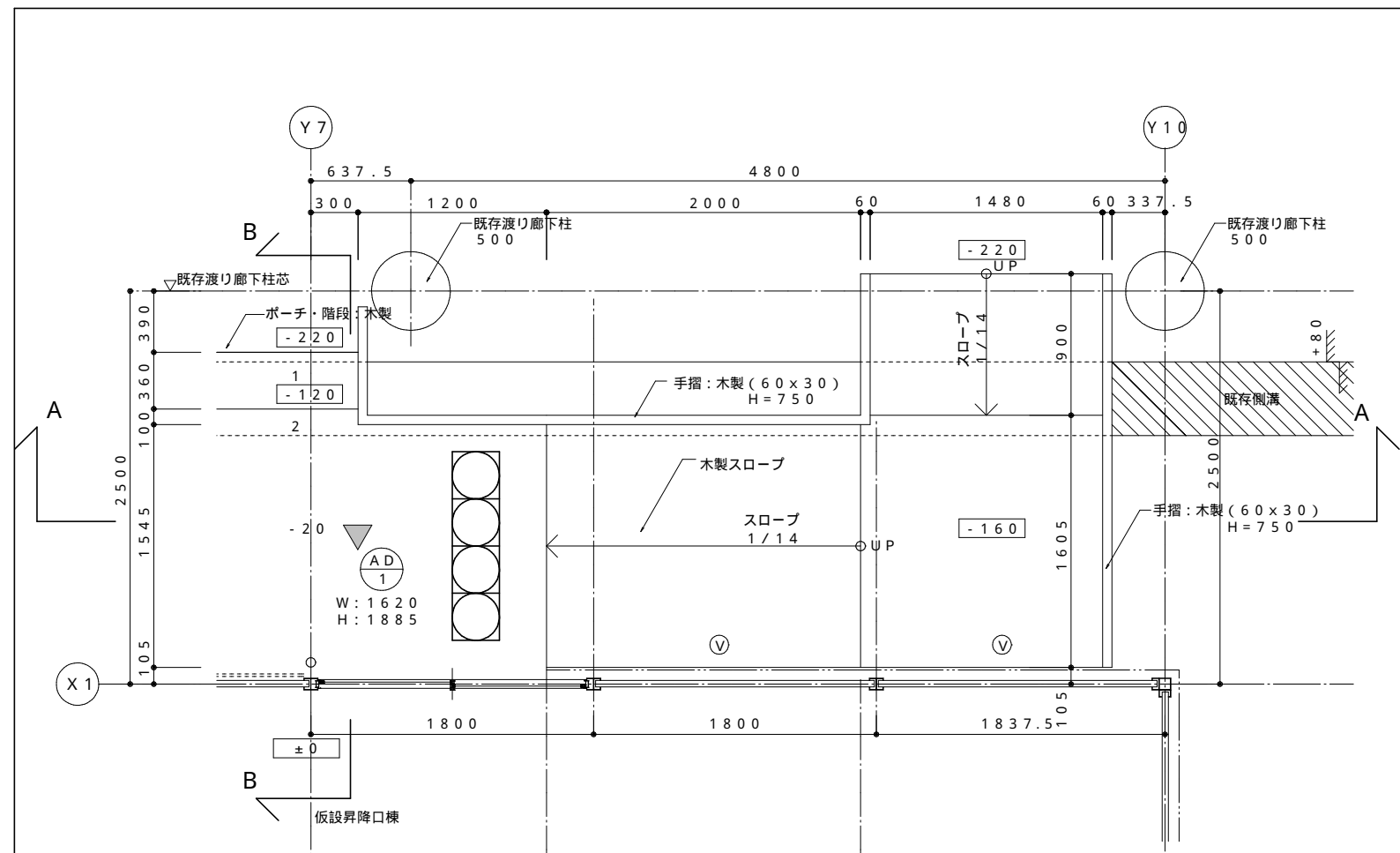




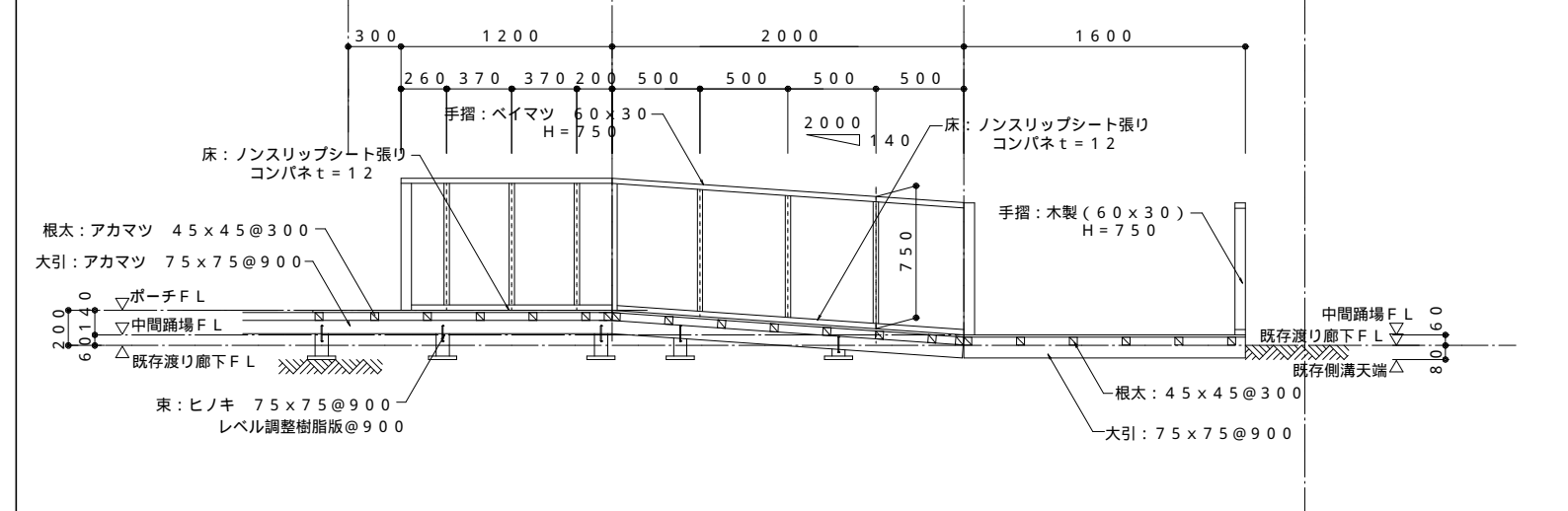
建物概要		各部仕様				その他建築物仕様認定番号					
工事種別	新築	屋根	材料	<input type="checkbox"/> 塗装ガルバリウム鋼板 <input type="checkbox"/> t=0.5 <input type="checkbox"/> t=0.6 <input checked="" type="checkbox"/> ガルバリウム鋼板 (素地) <input type="checkbox"/> t=0.6 <input checked="" type="checkbox"/> t=0.8	庇	材質・寸法	鋼製 D=1000	部位	計画仕様	認定番号など	
主要用途	高等学校		形状	ボルト式折板 H=88 (折板同士縫い合わせ@900 600)		屋根	ボルト式折板 t=0.5 H=88 (塗装ガルバリウム鋼板)	外壁	両面鋼板サンドイッチパネル	不燃材料	
構造	鉄骨造		防露材	ポリエチレンフォーム t=4		軒天井	折板表し			パネル芯材もきめた不燃材料とする	
階数	1階		鼻隠し	塩ビ鋼板 H=300		樋	塩ビ製 軒: 105φ/2 縦: 60φ				
耐火建築物種別	その他建築物		小屋裏断熱材	<input type="checkbox"/> GWt=50 (10kg/m <sup>3</sup> ) <input type="checkbox"/> GWt=50 (24kg/m <sup>3</sup> ) <input checked="" type="checkbox"/> スタイロフォーム t=30 (天井パネル内蔵)				屋根	ボルト式折板 (ガルバリウム鋼板)	不燃材料	
防火対象物種別	消防法施行令 別表第一 (7) 項		材料	両面鋼板サンドイッチパネル t=41				柱・梁・母屋	鉄骨	H12年告示第1400号	
特殊建築物種別	建築基準法 別表第一 (3)		表面材	外部: 塗装ガルバリウム鋼板 t=0.35 内部: 塗装ガルバリウム鋼板 t=0.27							
基礎種別	直接基礎	断熱材	無機質含有フェノールフォーム t=40								
最高高さ	3.546 m	軒裏	折板表し 防露材軒先カット								
軒高	3.226 m	開口部	窓 アルミサッシ引違い窓								
建築面積	147.69 m <sup>2</sup>	出入口	アルミサッシ引違い戸 アルミサッシ2枚引き戸								
延床面積	147.69 m <sup>2</sup> (16.275 x 9.075)	外部巾木	コンクリート打放し補修								
		樋	軒樋 塩ビ製 前上り135型 縦樋 塩ビ製 75φ								
				防火性能要求を満足させる商品とする事							
								・内装は、全てF☆☆☆☆又は告示対象外材料にて施工する。よって、使用面積 (令第20条の5) の制限を受けない。 ・天井裏等は、全てF☆☆☆☆以上又は告示対象外材料にて施工する。 ・石綿及びクワロリボスは使用しない。 ・建築材料の品質は法第37条を遵守する。			

内部仕上表																
階	室名	床高	天井高さ	床			壁 (外壁側) 【軸組:-】			壁 (間仕切壁) 【軸組:-】			天井 【軸組:-】			備考
				下地	仕上	巾木	下地	仕上	巾木	下地	仕上	巾木	下地	仕上	廻縁	
1階	昇降口	FL±0	2500以上	土間コンクリート	長尺塩ビシート t=2	鋼製	-	-	-	-	-	カラ-鋼板 t=0.27	鋼製			
							カラ-鋼板 t=0.27 (外壁パネル裏面)					カラ-鋼板 t=0.27				
							不燃材料					不燃材料				

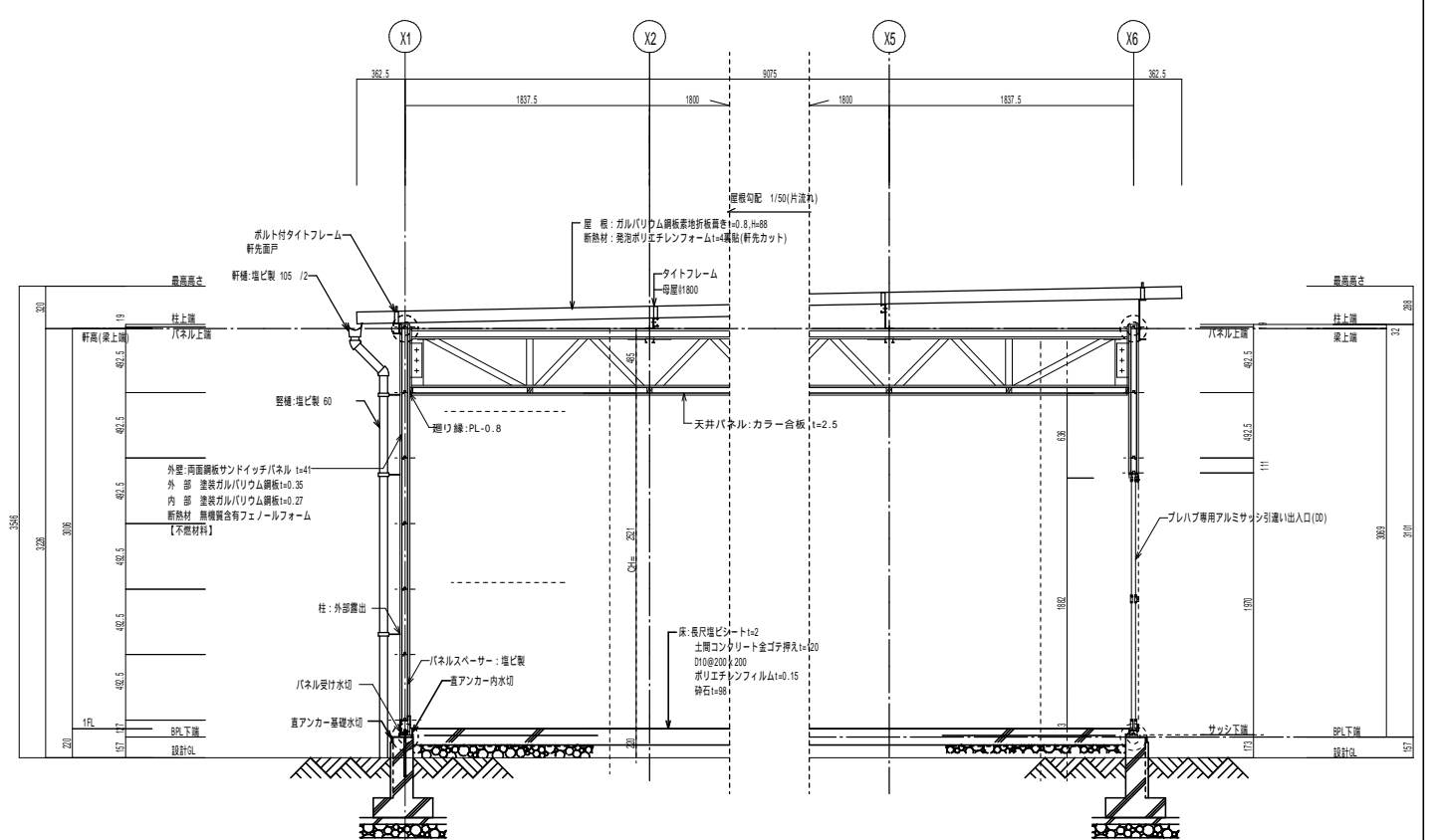




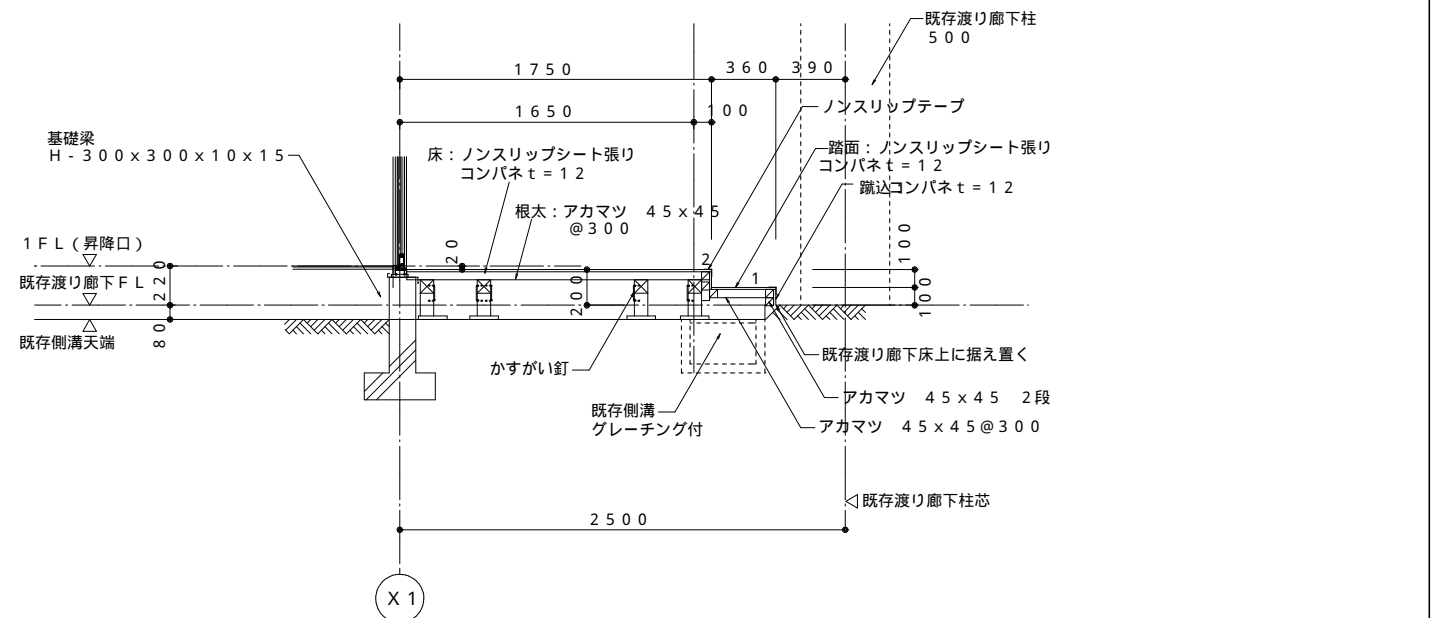
スロープ部平面詳細図 S = 1 / 30



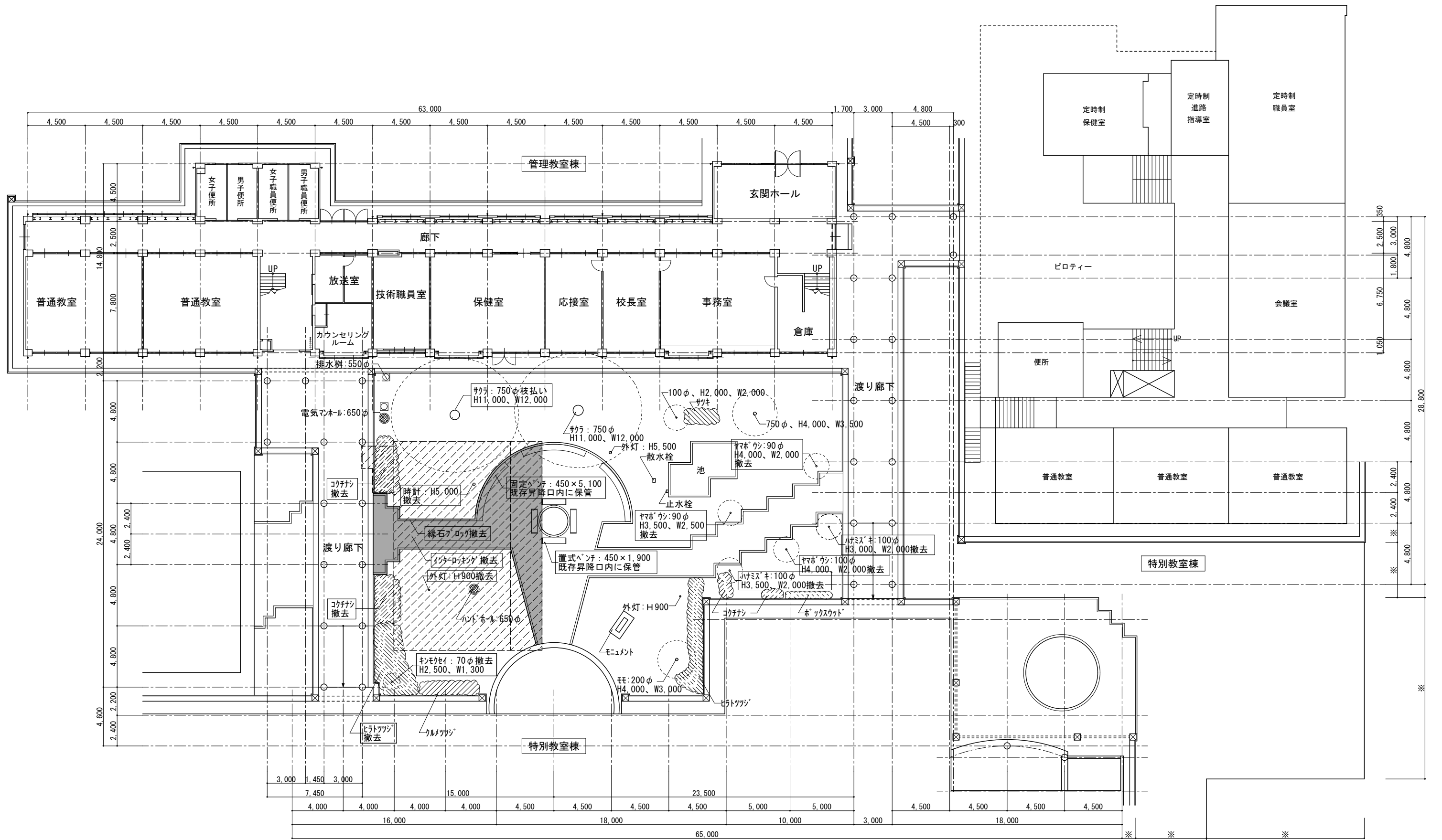
A - A 断面詳細図 S = 1 / 30



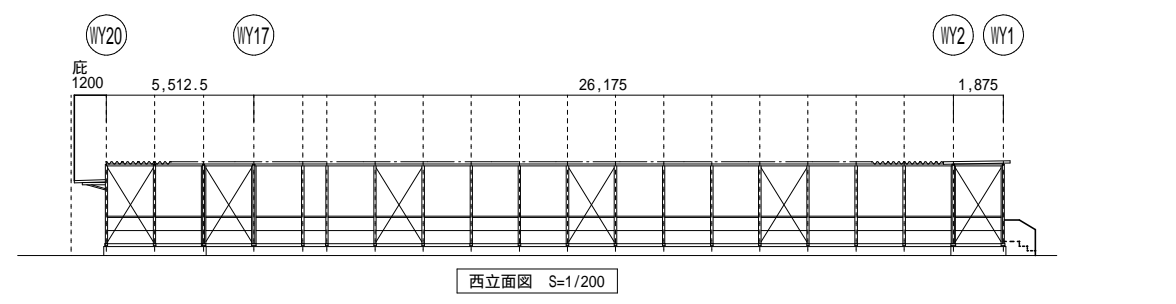
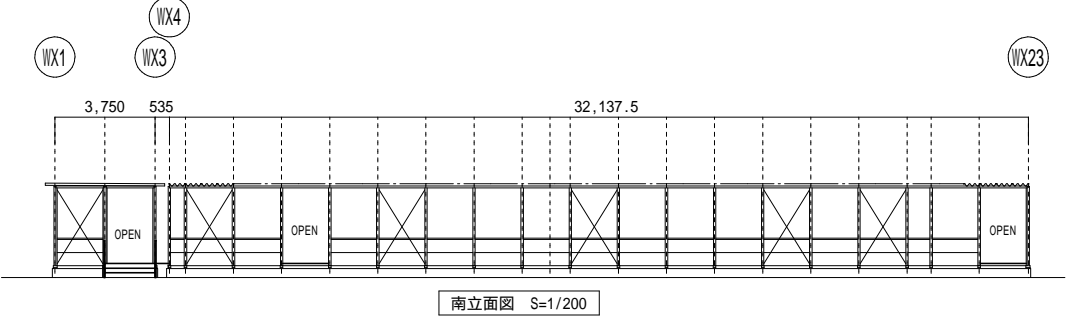
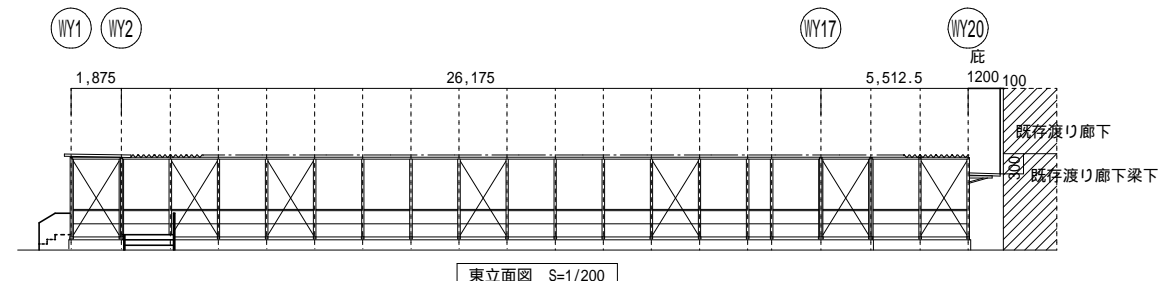
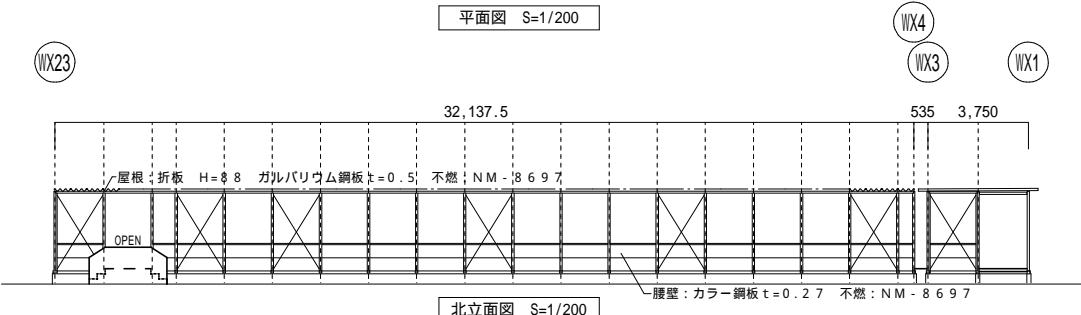
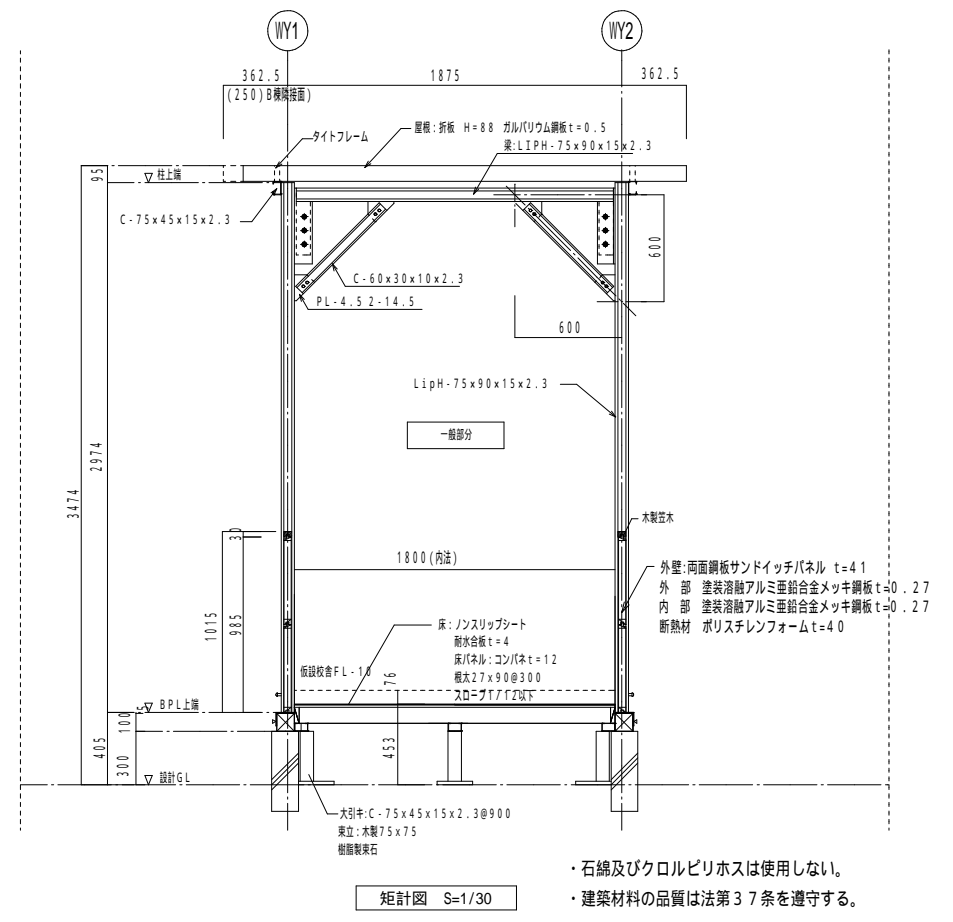
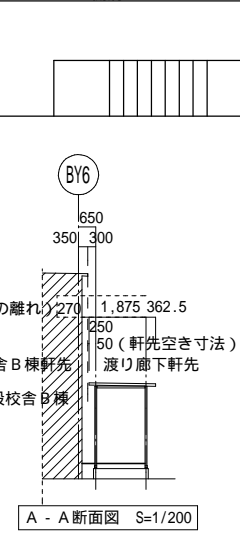
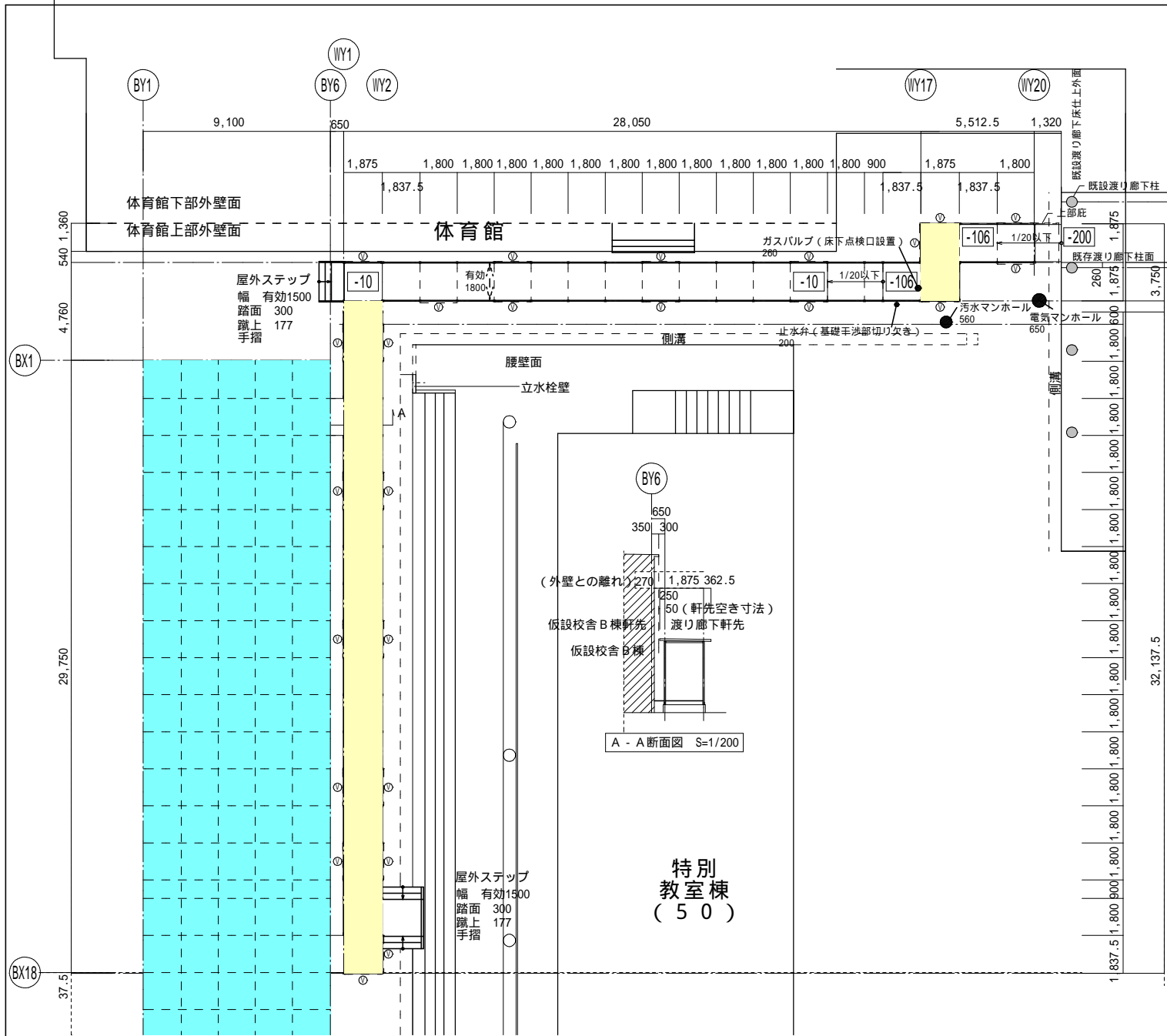
矩計図 S = 1/40



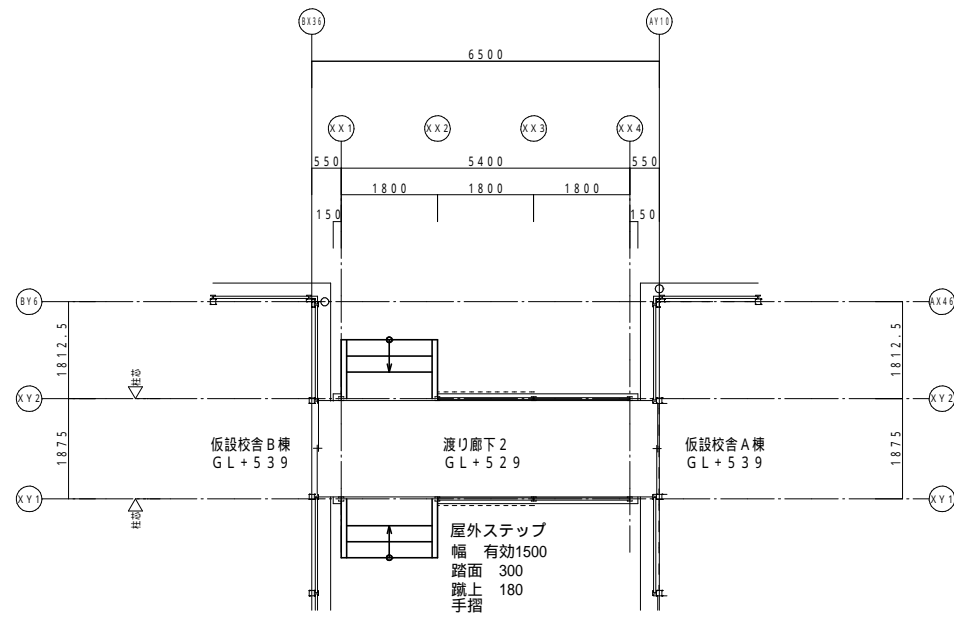
B - B 断面詳細図 S = 1 / 30



※仮設昇降口外構撤去は別途工事

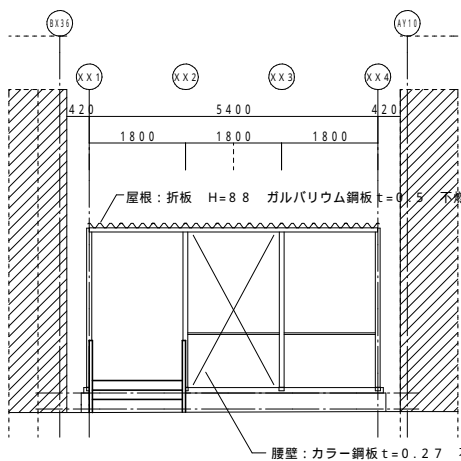


京都府教育庁	設計	中村設計 岩田 信一	学校名	府立桃山高等学校	図名	仮設渡り廊下1	No. KA-15
			工事名	府立桃山高等学校長寿命化(大規模)改修工事仮設校舎賃貸借	縮尺	(A2) 1/200・1/30	

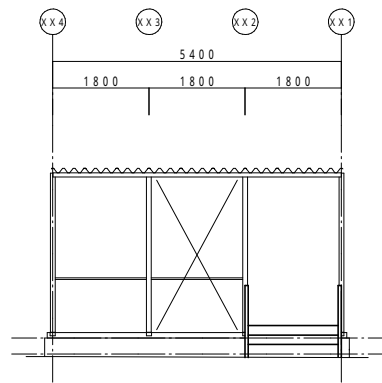


平面図 S=1/100

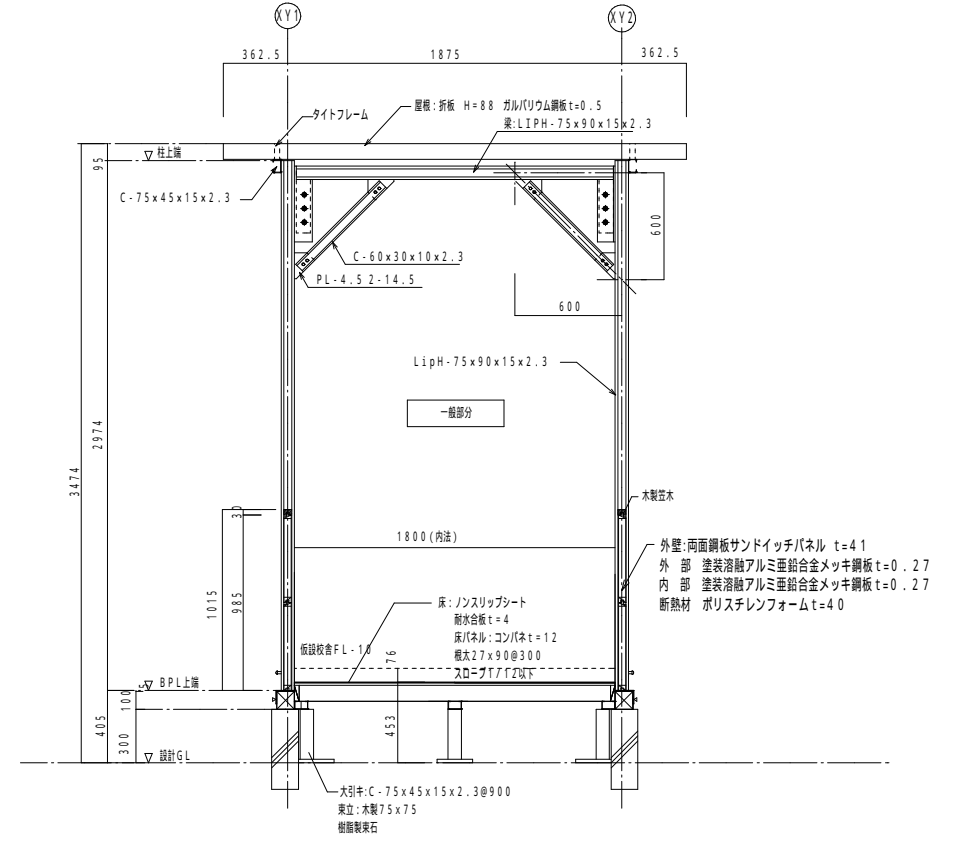
特記なき場合は下記による  
----- プレースを示す



Y1通り 立面図 S=1/100

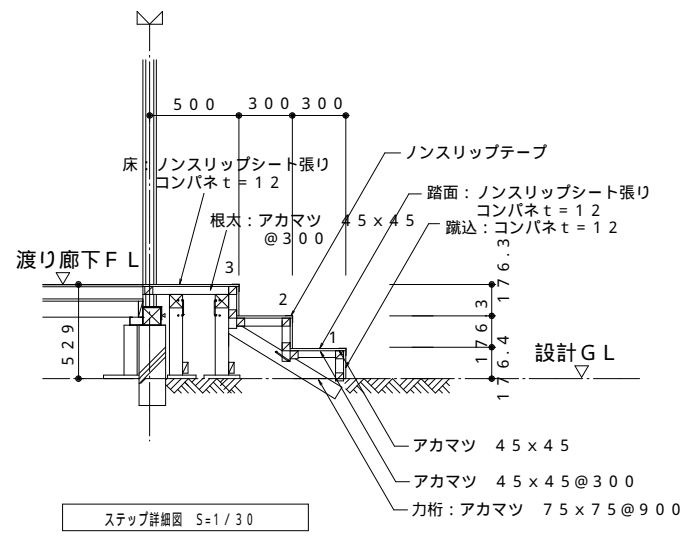


Y2通り 立面図 S=1/100



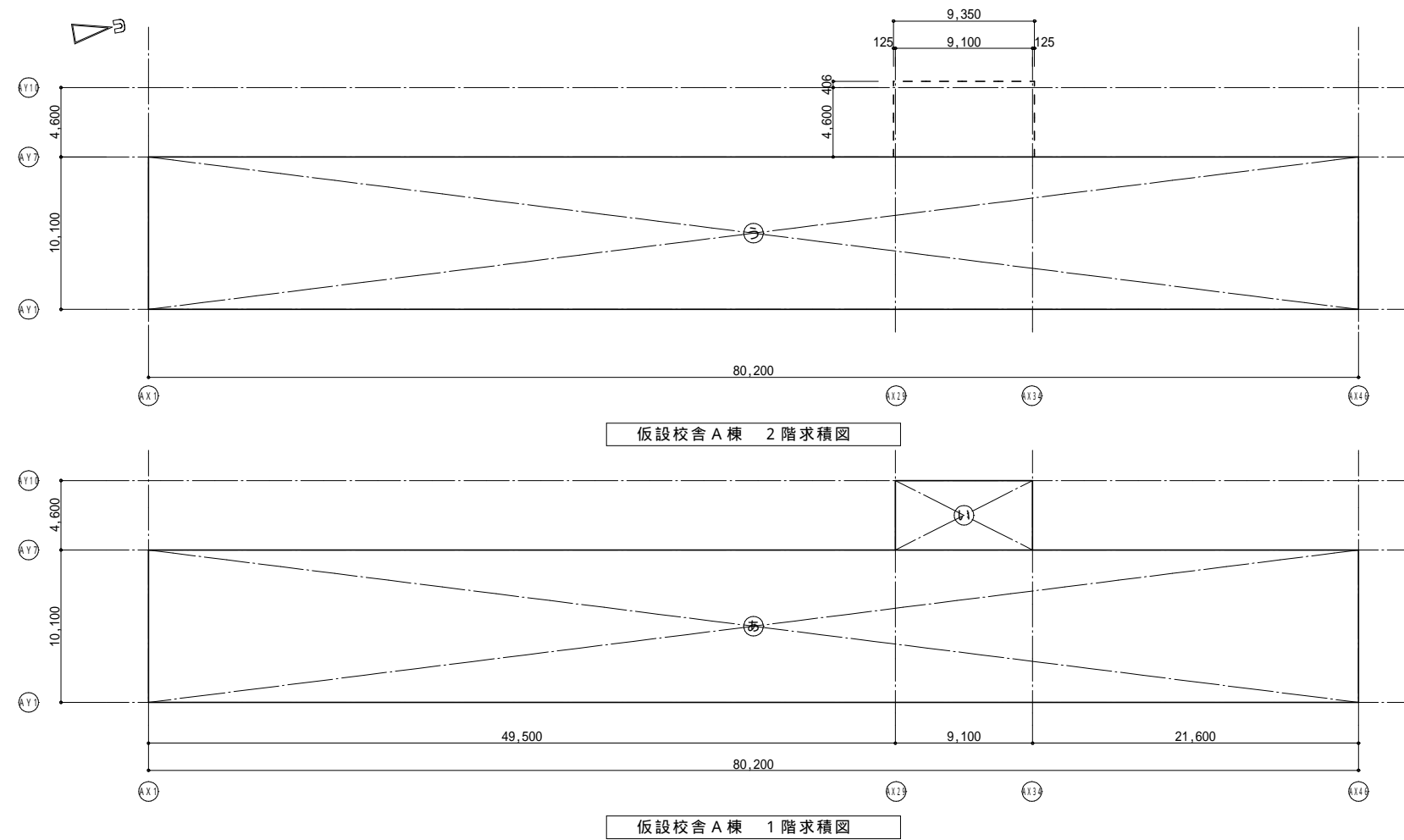
矩計図 S=1/30

・石綿及びケイロピリホスは使用しない。  
・建築材料の品質は法第37条を遵守する。

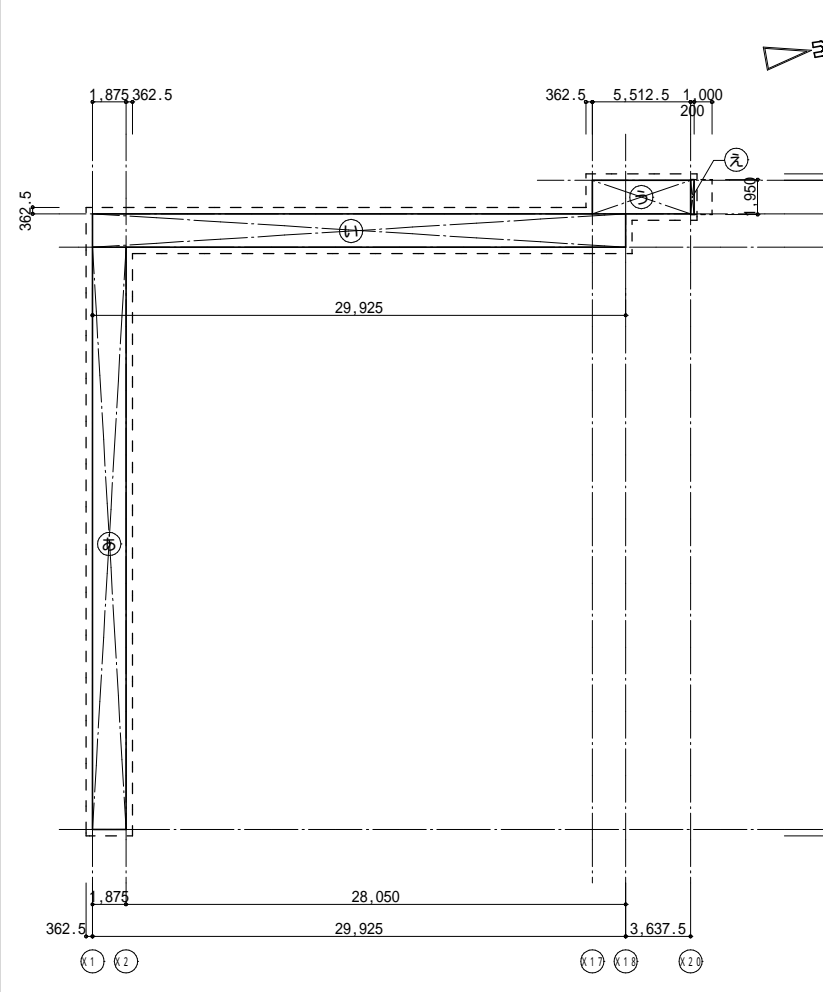


ステップ詳細図 S=1/30

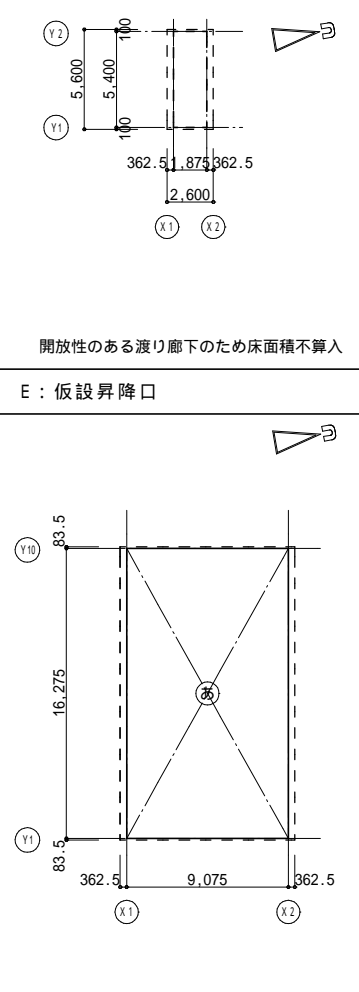
A : 仮設校舎A棟



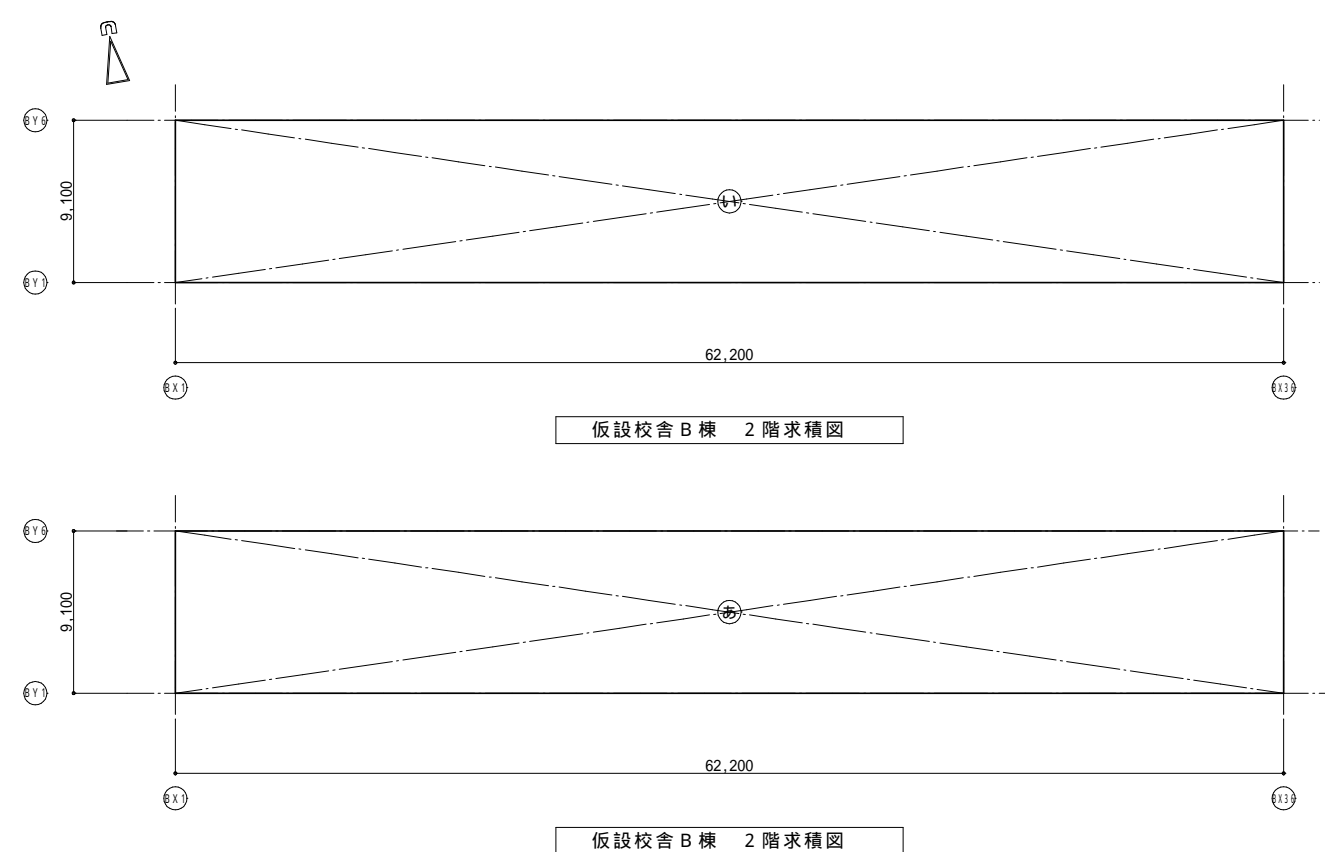
C : 仮設渡り廊下 1



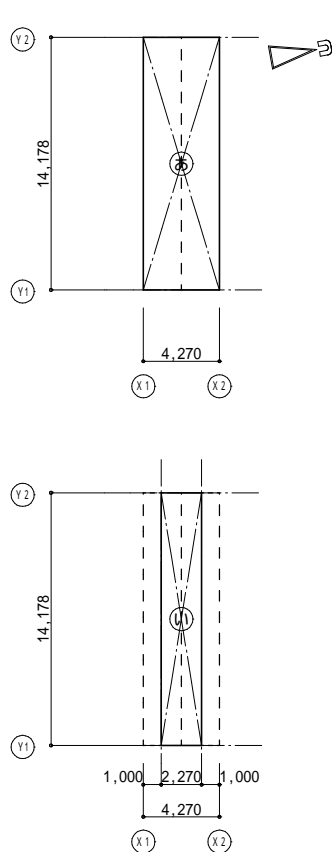
D : 仮設渡り廊下 2



B : 仮設校舎B棟



F・G : 駐輪場 1・2 (別途工事)













建物求積表

A: 仮設校舎A棟 求積表				D: 仮設渡り廊下 2 求積表				申請建物合計				
記号	計算(m)	面積(m <sup>2</sup> )	改め	記号	計算(m)	面積(m <sup>2</sup> )	改め	建築面積	延床面積	容積率対象延床面積		
あ	80.200 × 10.100	= 810.020	810.02	あ	1.875 × 5.400	= 10.125	10.13	851.88+566.02+128.11+10.13+147.70+32.19+32.19			= 1,768.22	
い	9.100 × 4.600	= 41.860	41.86	あ				1,661.90+1,132.04+127.72+147.70+60.54+60.54			= 3,190.44	
う	80.200 × 10.100	= 810.020	810.02	う				1,661.90+1,132.04+127.72+147.70			= 3,069.36	
建築面積	あ+い	= 851.88		容積率対象延床面積	開放性のある渡り廊下のため、床面積不算入			合計	8,604.16	16,542.70	16,401.60	
延床面積	1階:あ+い	= 851.88						建ぺい率	8,604.16	/	27,538.04	= 0.31245
	2階:う	= 810.02						容積率	16,401.60	/	27,538.04	= 0.59560
	合計	= 1,661.90						よって、31.23%				
容積率対象延床面積	1階:あ+い	= 851.88						よって、59.56%				
	2階:う	= 810.02										
	合計	= 1,661.90										

【 凡 例 】

(注意：●以外は参考とする。仮設計画作成のうえ  
監督員の承諾を受けた後、施工する。)

-  ... 工事範囲を示す。
-  ... 工事作業場を示す。  
(既設植栽等は養生とし、工事完了後整地清掃を行う事)
-  ... フェンスバリケードH1800設置を示す。  
上部養生シート張り・下部は幅木設置。  
(別途工事の仮囲い等は工事対象外)
-  ... ガードマン設置位置
-  ... 工事進入口を示す。
-  ... 教職員車両進入口を示す。
-  ... 生徒・教職員等 一般出入口を示す。
-  ... 現場事務所
-  ... 生徒・教職員等 一般動線を示す
-  ... 工事車両動線を示す

【 特 記 事 項 】

(仮設計画)

※工事期間中も授業が行われるため、騒音工事は配慮して施行すること。  
※出入口、通路等と外部足場が交差する部分は、コンパネ及び金網枠等により落下防止・進入防止の養生を行うこと。  
※仮囲い範囲は学校と事前に協議を行い決定すること。

(その他)

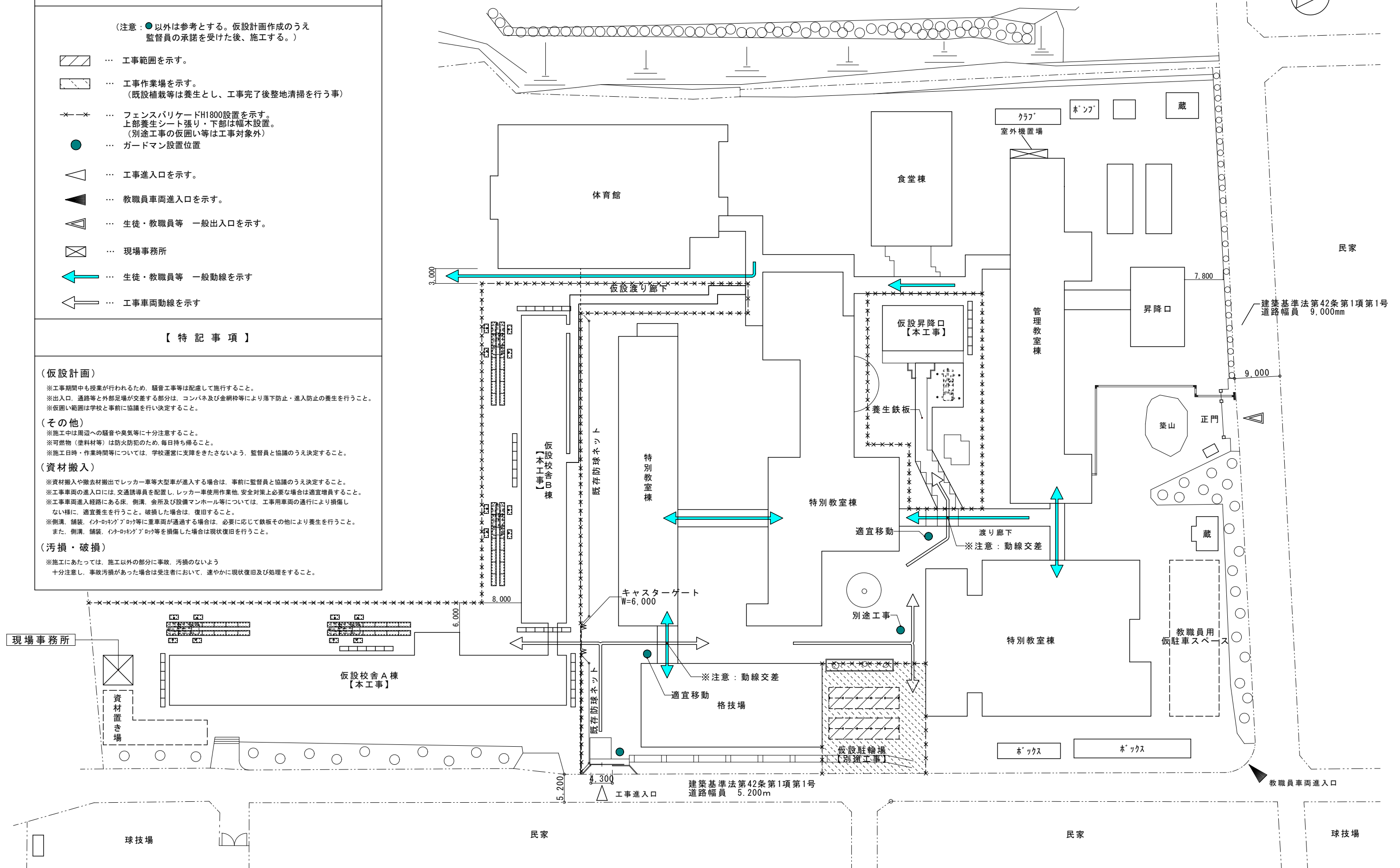
※施工中は周辺への騒音や臭気等に十分注意すること。  
※可燃物(塗料材等)は防火防犯のため、毎日持ち帰ること。  
※施工日時・作業時間等については、学校運営に支障をきたさないよう、監督員と協議のうえ決定すること。

(資材搬入)

※資材搬入や撤去材搬出でレッカー車等大型車が進入する場合は、事前に監督員と協議のうえ決定すること。  
※工事車両の進入口には、交通誘導員を配置し、レッカー車使用作業他、安全対策上必要な場合は適宜増員すること。  
※工事車両進入経路にある床、側溝、会所及び設備マンホール等については、工事用車両の通行により損傷しない様に、適宜養生を行うこと。破損した場合は、復旧すること。  
※側溝、舗装、インターロックブロック等に重車両が通過する場合は、必要に応じて鉄板その他により養生を行うこと。  
また、側溝、舗装、インターロックブロック等を損傷した場合は現状復旧を行うこと。

(汚損・破損)

※施工にあたっては、施工以外の部分に事故、汚損のないよう十分注意し、事故汚損があった場合は受注者において、速やかに現状復旧及び処理をすること。





令和4年度

工種		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(仮設校舎取合工事) 事前準備工事(別途工事)	仮設昇降口外構撤去				○ 計画書作成/承認	○ 外構撤去							
	仮設建物への電源引き込みに関わる外構舗装工事				○ 計画書作成/承認	○ 外構舗装撤去・復旧							
	仮設建物への給排水管設置に関わる外構舗装工事				○ 計画書作成/承認	○ 外構舗装撤去・復旧							
	付帯施設工事(バックネット等)				○ 計画書作成/承認	○ 既設バックネット撤去							
仮設昇降口新築工事	準備工事・共通仮設				○ 仮囲い、養生				○ 仮囲い撤去				
	直接仮設						○ 外部足場等		○ 外部足場等撤去				
	基礎工事				○ 掘削・基礎								
	躯体工事					○ 鉄骨建て方							
	防水工事						○ 折板葺き						
	外装工事						○ 外壁張り・吹付等						
	内装工事								○ 内装工事				
	建具工事								○ 建具取り付け				
	設備工事				○ 電気・機械設備工事								
	検査・引き渡し								○ 検査・是正	学校移転作業等		○ 使用開始	
仮設校舎新築工事	準備工事・共通仮設				○ 仮囲い、現場事務所・養生								
	直接仮設							○ 外部足場等		○ 外部足場等撤去			
	撤去工事				○ 外構撤去								
	基礎工事				○ 掘削・基礎								
	躯体工事							○ 鉄骨建て方					
	屋根工事								○ 折板葺き				
	外装工事								○ 外壁張り等				
	内装工事								○ 内装工事				
	建具工事								○ 建具取り付け				
	設備工事				○ 電気・機械設備工事								
検査・引き渡し								○ 検査・是正	学校移転作業等		○ 使用開始		
(別途工事) 仮設駐輪場	既存駐輪場 解体												○ 既存駐輪場 解体
	仮設駐輪場 新設							○ 計画書・施工図作成/承認	○ 仮設駐輪場 新設				
(別途工事) 管理教室棟改修	準備工事・共通仮設										○ 計画書・施工図作成/承認	○ 仮囲い、現場事務所・養生	
	直接仮設											○ 計画書・施工図作成/承認	○ 外部足場等
	付帯施設改修工事					○ 計画書・施工図作成/承認	○ 既存物置等の撤去・再設置工事						
	撤去工事												○ 計画書・施工図作成/承認

令和5年度

工種		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
管理教室棟改修(別途工事)	準備工事・共通仮設												
	直接仮設												
	撤去工事												
	防水工事	○ 計画書・施工図作成/承認					○ 屋上防水他						
	外装工事	○ 計画書・施工図作成/承認					○ 外壁吹付等						
	内装工事	○ 計画書・施工図作成/承認											
	建具工事	○ 計画書・施工図作成/承認											
	電気設備工事	○ 計画書・施工図作成/承認											
	機械設備工事	○ 計画書・施工図作成/承認											
	検査・引き渡し												
学校引越し作業等													

<p>・本仕様の中で選択式の項目は、■を採用して □は採用しない。          ・■であっても上位の項目が□の場合は採用しない。</p>		<p>3. 鉄筋コンクリート基礎工事</p>				<p>4. 鉄骨躯体工事</p>			<p>(2) 製作・施工</p>																																																																																								
<p>1. 構造概要</p>		<p>(1) コンクリート</p>				<p>(1) 使用材料</p>			<p>・製作工場</p>																																																																																								
<p>・建設場所</p> <p>京都市京都市伏見区桃山毛利門東町</p>		<p>・使用材料</p> <p>■コンクリートはJIS A5308によるレディーミクストコンクリートとする。          ■使用するセメントはJIS R5210によるポルトランドセメントとする。          ■普通ポルトランドセメント □早強ポルトランドセメント</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>基礎(構造体)</th> <th>土間</th> <th>捨てコン</th> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>普通</td> <td>普通</td> <td>普通</td> </tr> <tr> <td>設計基準強度(N/mm<sup>2</sup>)</td> <td>21</td> <td>21</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>スランプ</td> <td>18</td> <td>18</td> <td>18</td> </tr> </table>				項目	基礎(構造体)	土間	捨てコン	種類	普通	普通	普通	設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	21	21	18	スランプ	18	18	18	<p>・鋼材</p> <table border="1"> <tr> <th>記号</th> <th>材料名</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>SS400</td> <td>一般構造用圧延鋼材</td> <td>JIS G3101</td> </tr> <tr> <td>SSC400</td> <td>一般構造用軽量形鋼</td> <td>JIS G3350</td> </tr> <tr> <td>STK400</td> <td>一般構造用炭素鋼鋼管</td> <td>JIS G3444</td> </tr> <tr> <td>STKR400</td> <td>一般構造用角形鋼管</td> <td>JIS G3466</td> </tr> <tr> <td>SWH400(L)</td> <td>一般構造用溶接軽量H形鋼</td> <td>JIS G3353</td> </tr> <tr> <td>SNR400B</td> <td>建築構造用圧延棒鋼</td> <td>JIS G3138</td> </tr> <tr> <td>SN490B</td> <td>建築構造用圧延鋼材</td> <td>JIS G3136</td> </tr> <tr> <td>SNR490B</td> <td>建築構造用圧延棒鋼</td> <td>JIS G3138</td> </tr> <tr> <td>SUS304A</td> <td>建築構造用ステンレス鋼</td> <td>JIS G4321</td> </tr> </table>			記号	材料名	JIS番号	SS400	一般構造用圧延鋼材	JIS G3101	SSC400	一般構造用軽量形鋼	JIS G3350	STK400	一般構造用炭素鋼鋼管	JIS G3444	STKR400	一般構造用角形鋼管	JIS G3466	SWH400(L)	一般構造用溶接軽量H形鋼	JIS G3353	SNR400B	建築構造用圧延棒鋼	JIS G3138	SN490B	建築構造用圧延鋼材	JIS G3136	SNR490B	建築構造用圧延棒鋼	JIS G3138	SUS304A	建築構造用ステンレス鋼	JIS G4321	<p>・製作管理技術者資格</p> <p>■全国鐵構工業協会による性能評価を取得している者          □J ■R □M □H □S □未取得</p> <p>□1級建築士 □2級建築士 □1級鉄骨製作管理技術者 ■2級鉄骨製作管理技術者</p>																																										
項目	基礎(構造体)	土間	捨てコン																																																																																														
種類	普通	普通	普通																																																																																														
設計基準強度(N/mm <sup>2</sup> )	21	21	18																																																																																														
スランプ	18	18	18																																																																																														
記号	材料名	JIS番号																																																																																															
SS400	一般構造用圧延鋼材	JIS G3101																																																																																															
SSC400	一般構造用軽量形鋼	JIS G3350																																																																																															
STK400	一般構造用炭素鋼鋼管	JIS G3444																																																																																															
STKR400	一般構造用角形鋼管	JIS G3466																																																																																															
SWH400(L)	一般構造用溶接軽量H形鋼	JIS G3353																																																																																															
SNR400B	建築構造用圧延棒鋼	JIS G3138																																																																																															
SN490B	建築構造用圧延鋼材	JIS G3136																																																																																															
SNR490B	建築構造用圧延棒鋼	JIS G3138																																																																																															
SUS304A	建築構造用ステンレス鋼	JIS G4321																																																																																															
<p>・工事種別</p> <p>■新築 □増築 □改築</p> <p>・建物用途</p> <p>高等学校(仮設校舎)</p> <p>・階数規模</p> <p>鉄骨造(ブレース構造) 地上2階建</p> <p>・屋上荷重</p> <p>□空調屋外機 □ソーラーシステム □屋上緑化設備 □</p> <p>・特殊荷重</p> <p>□エレベーター(兼用 人乗り) □小荷物昇降機</p> <p>・増築計画</p> <p>なし</p> <p>・外的条件</p> <p>風速(V0) 3.2m/s</p> <p>地表面粗度区分 □I □II ■III □IV</p> <p>積雪 積雪量: 30cm 単位重量: 20N/m<sup>2</sup>・cm</p> <p>凍結深度 0.00m</p>		<p>・強度補正</p> <p>■構造体強度補正値は以下による。(JASS5-2018)</p> <table border="1"> <tr> <th>気温θ(°C)</th> <th>打込み日から28日までの予想平均気温</th> <th>暑中期間</th> </tr> <tr> <td>早強ポルトランドセメント</td> <td>0 ≤ θ &lt; 5</td> <td>5 ≤ θ</td> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント</td> <td>0 ≤ θ &lt; 8</td> <td>8 ≤ θ</td> </tr> </table> <p>25 &lt; 平均θ</p> <table border="1"> <tr> <th>補正值(N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>+6</th> <th>+3</th> <th>+6</th> </tr> </table>				気温θ(°C)	打込み日から28日までの予想平均気温	暑中期間	早強ポルトランドセメント	0 ≤ θ < 5	5 ≤ θ	普通ポルトランドセメント	0 ≤ θ < 8	8 ≤ θ	補正值(N/mm <sup>2</sup> )	+6	+3	+6	<p>・ブレース</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>仕様・形式など</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>材料(M12~)</td> <td>■SNR400B □SS400</td> <td>JIS G3138</td> </tr> <tr> <td>表面仕上げ</td> <td>■めっき(ユニクロ)</td> <td>JIS H8625</td> </tr> <tr> <td></td> <td>■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種</td> <td>JIS K5674</td> </tr> <tr> <td>ブレース形式</td> <td>■ターンバックル(S-S-T-S)</td> <td>JIS A5540</td> </tr> <tr> <td>胴形式</td> <td>■割り枠式 □パイプ式</td> <td>JIS A5541</td> </tr> <tr> <td>ボルト形式</td> <td>■羽子板ボルト □両ねじボルト</td> <td>JIS A5540</td> </tr> <tr> <td>取付けボルト</td> <td>■ボルト □高力ボルト(支圧接合)</td> <td>JIS B1180</td> </tr> </table>			項目	仕様・形式など	JIS番号	材料(M12~)	■SNR400B □SS400	JIS G3138	表面仕上げ	■めっき(ユニクロ)	JIS H8625		■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種	JIS K5674	ブレース形式	■ターンバックル(S-S-T-S)	JIS A5540	胴形式	■割り枠式 □パイプ式	JIS A5541	ボルト形式	■羽子板ボルト □両ねじボルト	JIS A5540	取付けボルト	■ボルト □高力ボルト(支圧接合)	JIS B1180	<p>・製品検査内容</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>検査内容</th> </tr> <tr> <td>■寸法精度(新品部材のみ)</td> <td>寸法、ひずみなどの測定</td> </tr> <tr> <td>■隅肉溶接(新品部材のみ)</td> <td>すみ肉溶接状況の目視による確認</td> </tr> <tr> <td>□部分溶込溶接(異形隅肉溶接)</td> <td>開先形状、溶接状況の目視による確認</td> </tr> <tr> <td>□完全溶込溶接</td> <td>超音波探傷試験</td> </tr> <tr> <td>■ボルト接合</td> <td>スプリングワッシャーのつぶれ確認</td> </tr> <tr> <td>□高力ボルト接合</td> <td>マーキングのずれ、ピンテール破断の確認</td> </tr> </table>				項目	検査内容	■寸法精度(新品部材のみ)	寸法、ひずみなどの測定	■隅肉溶接(新品部材のみ)	すみ肉溶接状況の目視による確認	□部分溶込溶接(異形隅肉溶接)	開先形状、溶接状況の目視による確認	□完全溶込溶接	超音波探傷試験	■ボルト接合	スプリングワッシャーのつぶれ確認	□高力ボルト接合	マーキングのずれ、ピンテール破断の確認																																		
気温θ(°C)	打込み日から28日までの予想平均気温	暑中期間																																																																																															
早強ポルトランドセメント	0 ≤ θ < 5	5 ≤ θ																																																																																															
普通ポルトランドセメント	0 ≤ θ < 8	8 ≤ θ																																																																																															
補正值(N/mm <sup>2</sup> )	+6	+3	+6																																																																																														
項目	仕様・形式など	JIS番号																																																																																															
材料(M12~)	■SNR400B □SS400	JIS G3138																																																																																															
表面仕上げ	■めっき(ユニクロ)	JIS H8625																																																																																															
	■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種	JIS K5674																																																																																															
ブレース形式	■ターンバックル(S-S-T-S)	JIS A5540																																																																																															
胴形式	■割り枠式 □パイプ式	JIS A5541																																																																																															
ボルト形式	■羽子板ボルト □両ねじボルト	JIS A5540																																																																																															
取付けボルト	■ボルト □高力ボルト(支圧接合)	JIS B1180																																																																																															
項目	検査内容																																																																																																
■寸法精度(新品部材のみ)	寸法、ひずみなどの測定																																																																																																
■隅肉溶接(新品部材のみ)	すみ肉溶接状況の目視による確認																																																																																																
□部分溶込溶接(異形隅肉溶接)	開先形状、溶接状況の目視による確認																																																																																																
□完全溶込溶接	超音波探傷試験																																																																																																
■ボルト接合	スプリングワッシャーのつぶれ確認																																																																																																
□高力ボルト接合	マーキングのずれ、ピンテール破断の確認																																																																																																
<p>・耐震安全基準</p> <p>構造体(用途係数) □I類(1.5) □II類(1.25) ■III類(1.0)</p> <p>非構造部材 □A類 ■B類</p>		<p>・型枠</p> <p>型枠の材質: ■合板 □金属パネル</p> <p>■型枠の存置期間を定めるためのコンクリートの材齢は以下による。</p> <table border="1"> <tr> <th>平均気温(°C)</th> <th>10°C以上20°C未満</th> <th>20°C以上</th> </tr> <tr> <td>早強ポルトランドセメント</td> <td>3日</td> <td>2日</td> </tr> <tr> <td>普通ポルトランドセメント</td> <td>6日</td> <td>4日</td> </tr> </table>				平均気温(°C)	10°C以上20°C未満	20°C以上	早強ポルトランドセメント	3日	2日	普通ポルトランドセメント	6日	4日	<p>・製品検査者など</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>自主</th> <th>施工者</th> <th>第三者</th> <th>工事監理者</th> </tr> <tr> <td>工場製作部分</td> <td>■全数確認</td> <td>□対物 %</td> <td>■書類 □%</td> <td>■書類確認</td> </tr> <tr> <td>現場組立部分</td> <td>■全数確認</td> <td>□対物 %</td> <td>■書類 -</td> <td>■書類確認</td> </tr> </table> <p>第三者検査機関とは、建築主、工事監理者又は工事施工者が、受入れ検査を代行させるため、自ら契約した検査会社をいう。</p>			項目	自主	施工者	第三者	工事監理者	工場製作部分	■全数確認	□対物 %	■書類 □%	■書類確認	現場組立部分	■全数確認	□対物 %	■書類 -	■書類確認	<p>・基礎ボルトの保持</p> <p>□A種(形鋼で固定) □B種(鉄筋で固定)</p> <p>□C種(筒で覆い位置修正後モルタル充填) ■合板製型板に固定</p> <p>■柱底均しモルタル(■普通モルタル(容積比セメント1:砂2) □無収縮モルタル)</p> <p>□A種(無収縮モルタル圧入) □B種(モルタル詰め) □基礎土端均し</p> <p>■六角ボルトは、座金・ばね座金を併用しナットを固定</p> <p>■基礎ボルトは、座金・2重ナット又は溶接で固定</p> <p>□高力ボルトの締付けに使用する機器はよく整備されたものを使用し、締付け順序は部材が十分に密着するように注意して行う。また、締付けは一次、二次締めとする。なお、導入張力確認試験は行わない。</p>																																																																
平均気温(°C)	10°C以上20°C未満	20°C以上																																																																																															
早強ポルトランドセメント	3日	2日																																																																																															
普通ポルトランドセメント	6日	4日																																																																																															
項目	自主	施工者	第三者	工事監理者																																																																																													
工場製作部分	■全数確認	□対物 %	■書類 □%	■書類確認																																																																																													
現場組立部分	■全数確認	□対物 %	■書類 -	■書類確認																																																																																													
<p>2. 地盤・地業</p>		<p>・品質管理</p> <p>■コンクリートはJIS認証工場の製品とし、施工は公共建築工事標準仕様書による。</p> <p>■AE剤、AE減水剤を用いるコンクリートの空気量は4.5%とする。</p> <p>■水セメント比は65%以下とする。(土間コンクリートは60%以下とする)</p> <p>■単位水量は185kg/m<sup>3</sup>以下とする。</p> <p>■単位セメント量は270kg/m<sup>3</sup>以上とする。</p> <p>■塩化物含有量試験により、塩化物イオン量が0.30kg/m<sup>3</sup>以下であることを確認すること。</p> <p>■アルカリシリカ反応性試験により、無害を確認した骨材を使用すること。</p> <p>■構造体コンクリートの圧縮強度試験に使用する供試体の採取方法は、JASS5-T-603による。</p> <p>■構造体コンクリートの圧縮強度試験は、工事監理者が指定する、第三者機関とする。</p> <p>□構造体コンクリートの圧縮強度試験は「建築物の工事における試験及び検査に関する東京都取扱い要領」第4条の試験機関にて行なうこと。</p> <p>■コンクリートの養生は、被覆、散水などによる5日以上の湿潤養生を基本とする。</p>				<p>・ボルトセット</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>仕様・形式など</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>■六角ボルトセット</td> <td>ボルト ■呼び径六角ボルト □全ねじ六角ボルト ナット ■1種 □3種 平座金 ■丸型 □角型 ばね座金</td> <td>JIS B1180 JIS B1181 JIS B1256 JIS B1251</td> </tr> <tr> <td>□高力ボルト</td> <td>□JIS型(F10T、F8T) □トルシア型(S10T)</td> <td>JIS B1186 大臣認定品</td> </tr> <tr> <td>■基礎ボルト</td> <td>仕様材料: ■SS400 □SNR400B □SNR490B 形状: □U型 □L型 ■J型 ■ナット付 ねじ加工: ■転造 □切削 ■施工後必ず防錆処理を行なうこと</td> <td>JIS G3101 JIS G3138 JIS K5674</td> </tr> </table>			項目	仕様・形式など	JIS番号	■六角ボルトセット	ボルト ■呼び径六角ボルト □全ねじ六角ボルト ナット ■1種 □3種 平座金 ■丸型 □角型 ばね座金	JIS B1180 JIS B1181 JIS B1256 JIS B1251	□高力ボルト	□JIS型(F10T、F8T) □トルシア型(S10T)	JIS B1186 大臣認定品	■基礎ボルト	仕様材料: ■SS400 □SNR400B □SNR490B 形状: □U型 □L型 ■J型 ■ナット付 ねじ加工: ■転造 □切削 ■施工後必ず防錆処理を行なうこと	JIS G3101 JIS G3138 JIS K5674	<p>・溶接基準</p> <p>・溶接の種類</p> <p>被覆アーク溶接 (手溶接) ガスシールドアーク溶接(半自動溶接)</p> <p>・溶接材料</p> <p>軟鋼用被覆アーク溶接棒 JIS Z3211 軟鋼及び高張力マグ溶接用ソリッドワイヤ JIS Z3312</p> <p>・溶接有効長さ</p> <p>溶接の有効長さ ≥ 10S かつ 40mm 溶接の有効長さ = 溶接長さ - 2S</p>																																																																												
項目	仕様・形式など	JIS番号																																																																																															
■六角ボルトセット	ボルト ■呼び径六角ボルト □全ねじ六角ボルト ナット ■1種 □3種 平座金 ■丸型 □角型 ばね座金	JIS B1180 JIS B1181 JIS B1256 JIS B1251																																																																																															
□高力ボルト	□JIS型(F10T、F8T) □トルシア型(S10T)	JIS B1186 大臣認定品																																																																																															
■基礎ボルト	仕様材料: ■SS400 □SNR400B □SNR490B 形状: □U型 □L型 ■J型 ■ナット付 ねじ加工: ■転造 □切削 ■施工後必ず防錆処理を行なうこと	JIS G3101 JIS G3138 JIS K5674																																																																																															
<p>・地盤調査資料</p> <p>事前資料: ■有り □無し 調査予定: □有り ■無し</p> <p>調査場所: ■敷地内 □近隣</p> <p>調査方式: □スウェーデン式静的貫入試験 ■標準貫入試験 □平板載荷試験</p> <p>資料確認: ■添付の調査報告書参照</p> <p>50 kN/m<sup>2</sup>(長期)</p> <p>□表層 ■設計GL-0.08m □その他</p> <p>GL-----m (調査時に水位は認められず)</p>		<p>・杭基礎</p> <p>■直接基礎 ■布基礎 □ベタ基礎 □独立基礎</p> <p>□地盤改良</p> <p>□浅層改良 □粉体セメント系固化材原位置混合処理工法(□発塵抑制型 □六価クロム低排出型)</p> <p>□柱状改良 □スラリー状セメント系固化材原位置混合処理工法(ソイルセメントコラム)</p> <p>□杭基礎 □摩擦杭 □一般支持杭 □認定底根固め支持杭</p>				<p>・デッキプレート</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>仕様・形式など</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>種類(記号)</td> <td>■SDP1T(G) □SDP2(G)</td> <td>JIS G3352</td> </tr> <tr> <td>構造形式</td> <td>■デッキ構造スラブ用 □合成スラブ用</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防錆措置</td> <td>■溶融亜鉛めっきZ12 □その他( )</td> <td></td> </tr> </table>			項目	仕様・形式など	JIS番号	種類(記号)	■SDP1T(G) □SDP2(G)	JIS G3352	構造形式	■デッキ構造スラブ用 □合成スラブ用		防錆措置	■溶融亜鉛めっきZ12 □その他( )		<p>・表面処理</p> <table border="1"> <tr> <th>項目</th> <th>仕様・形式など</th> <th>JIS番号</th> </tr> <tr> <td>・さび止め塗装</td> <td>■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種(エコサビ) □溶融亜鉛めっき □さび浸透形特殊変性エポキシ樹脂塗料(さびコート)</td> <td>JIS K5674 JIS H8641 JIS K5551</td> </tr> <tr> <td>・仕上げ塗装</td> <td>■合成樹脂調合ペイント(マリンフラッシュ) □めっき表し(外部露出部のみ) □ポリウレタン樹脂系特殊塗料(NYポリンK上塗HB) □その他( )</td> <td>JIS K5516 JIS K5659</td> </tr> </table>				項目	仕様・形式など	JIS番号	・さび止め塗装	■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種(エコサビ) □溶融亜鉛めっき □さび浸透形特殊変性エポキシ樹脂塗料(さびコート)	JIS K5674 JIS H8641 JIS K5551	・仕上げ塗装	■合成樹脂調合ペイント(マリンフラッシュ) □めっき表し(外部露出部のみ) □ポリウレタン樹脂系特殊塗料(NYポリンK上塗HB) □その他( )	JIS K5516 JIS K5659																																																																
項目	仕様・形式など	JIS番号																																																																																															
種類(記号)	■SDP1T(G) □SDP2(G)	JIS G3352																																																																																															
構造形式	■デッキ構造スラブ用 □合成スラブ用																																																																																																
防錆措置	■溶融亜鉛めっきZ12 □その他( )																																																																																																
項目	仕様・形式など	JIS番号																																																																																															
・さび止め塗装	■鉛・クロムフリーさび止めペイント1種(エコサビ) □溶融亜鉛めっき □さび浸透形特殊変性エポキシ樹脂塗料(さびコート)	JIS K5674 JIS H8641 JIS K5551																																																																																															
・仕上げ塗装	■合成樹脂調合ペイント(マリンフラッシュ) □めっき表し(外部露出部のみ) □ポリウレタン樹脂系特殊塗料(NYポリンK上塗HB) □その他( )	JIS K5516 JIS K5659																																																																																															
<p>・地業材料</p> <p>・残土処分</p> <p>・柱状図</p>		<p>・品質管理</p> <p>■施工はJASS5(2015)による。</p> <p>■強度試験に代えて品質証明書(ミルシート)の確認を行なう。</p> <p>□D19以上の鉄筋をガス圧接する場合は日本鉄筋継手協会の「鉄筋のガス圧接工事標準仕様書」による。</p> <p>■鉄筋の加工、組立ては別紙「鉄筋コンクリート配筋標準図」による。</p>				<p>・材料の品質管理</p> <p>□材料試験を行なう。</p> <p>■品質証明書(ミルシート)の確認を行なう。(新品部材のみ)</p> <p>■(社)プレハブ建築協会規格建築部会による中古鉄骨部材の運用管理指針・同解説に基づく管理要領書による。</p>			<p>・柱状図</p> <table border="1"> <tr> <th>標高m</th> <th>層厚m</th> <th>深度m</th> <th>土質</th> <th>N値</th> </tr> <tr> <td>0</td> <td>0.75</td> <td>0.75</td> <td>粘土混り砂礫</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td>砂礫混り粘土</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>2.70</td> <td>1.95</td> <td>砂混り粘土</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td></td> <td></td> <td>粘土</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4.00</td> <td>1.30</td> <td>粘土混り砂礫</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>4.80</td> <td>0.80</td> <td>粘土</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5.25</td> <td>0.45</td> <td>粘土混り砂礫</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td></td> <td></td> <td>砂礫</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>8.25</td> <td>3.00</td> <td></td> <td>42</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>46</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>12</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>13</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>14</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>15</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				標高m	層厚m	深度m	土質	N値	0	0.75	0.75	粘土混り砂礫	8	1			砂礫混り粘土	7	2	2.70	1.95	砂混り粘土	9	3			粘土	8	4	4.00	1.30	粘土混り砂礫	7	5	4.80	0.80	粘土	8	6	5.25	0.45	粘土混り砂礫	19	7			砂礫	40	8	8.25	3.00		42	9				39	10				46	11					12					13					14					15				
標高m	層厚m	深度m	土質	N値																																																																																													
0	0.75	0.75	粘土混り砂礫	8																																																																																													
1			砂礫混り粘土	7																																																																																													
2	2.70	1.95	砂混り粘土	9																																																																																													
3			粘土	8																																																																																													
4	4.00	1.30	粘土混り砂礫	7																																																																																													
5	4.80	0.80	粘土	8																																																																																													
6	5.25	0.45	粘土混り砂礫	19																																																																																													
7			砂礫	40																																																																																													
8	8.25	3.00		42																																																																																													
9				39																																																																																													
10				46																																																																																													
11																																																																																																	
12																																																																																																	
13																																																																																																	
14																																																																																																	
15																																																																																																	

・構造図に記載されている事項は、本標準図に優先して適用する。  
 ・構造図及び本標準図に記載されていない事項は、工事監理者と協議を行なう。

### 1. 鉄筋加工

・端部折曲げ形状

折曲げ角度	180°	135°	90°
形状			
鉄筋の余長	4d以上	6d以上 (幅止め筋は4d以上)	8d以上 (幅止め筋は4d以上)

・D16以下でR≥3d D19以上でR≥4d (中間部の折曲げも同様)

・あばら筋の形状

A. 単配筋の基本形	B. 複配筋の基本形
フック位置はスラブ側	フック位置は交互
C. 片側床版付 (Bがより良い)	D. 両側床版付 (Bがより良い)
フック位置はスラブ側	フック位置はスラブ側

・あばら筋の上部フックの納め方

屋外側、基礎梁主筋、室内側、アンカーボルト、あばら筋のフック

あばら筋上部のフックは基礎梁主筋と45°の角度をなすように加工して、かぶり厚さを確保する。

### 2. 組立

・継手・定着長さ

・継手位置 (布基礎の場合)

・梁主筋の範囲 (端部・中央部)

・かぶり厚さ

・鉄筋のあき

・土間コンの配筋

コンクリートの設計基準強度	18N/mm <sup>2</sup>	21 24N/mm <sup>2</sup>
重ね継手の長さ (L1)	45d または 35dフック付き	40d または 30dフック付き
定着の長さ (L2)	40d または 30dフック付き	40d または 25dフック付き
溶接金網の継手の長さ	1節半以上	1節半以上

・末端のフックは、定着および重ね継手の長さに含まない  
 ・隣接する重ね継手位置は下図の何れかとする。

・重ね継手位置を下図の斜線位置 (引張力の最も小さい部分) とした場合は、上表の数値を25d以上に変更することができる。上表の数値とする場合、位置の制限は無しとする。

・かぶり厚さに捨てコンクリートは含まない。

・鉄筋のあきは以下の内、最大のもの以上とする。  
 ① 鉄筋の呼び径の1.5倍以上  
 ② 粗骨材最大寸法の1.25倍以上  
 ③ 25mm以上

① 鉄筋の位置は土間コン上端より40下がりの位置とする

### 3. 各種補強

・増打ち補強

・梁段差部定着

・主筋を通す場合 (フカシ部)

・注意事項 基礎落し部の土間配筋補強

・基礎落し部の土間配筋補強 (シャッター部等)

・D10@200補強筋

### 4. 梁貫通補強

・貫通位置

・貫通孔の間隔

・貫通孔の補強

・床下換気口補強

貫通孔が連続して間隔がとれない場合は、工事監理者と協議を行なうこと。

80 ≤ φ ≤ 100

・単配筋の場合  
折筋 2-D13  
縦筋 ST D10@100

・複配筋の場合  
折筋 2-(2-D13)  
縦筋 ST 2-D10@100

100 < φ ≤ 150

・単配筋の場合  
折筋 2-D13  
縦筋 ST D10@100  
横筋 2-D13

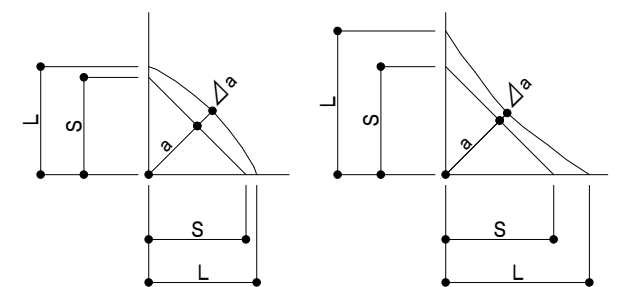
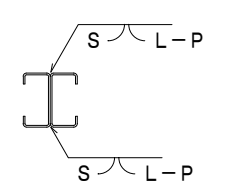
・複配筋の場合  
折筋 2-(2-D13)  
縦筋 ST 2-D10@100  
横筋 2-(2-D13)

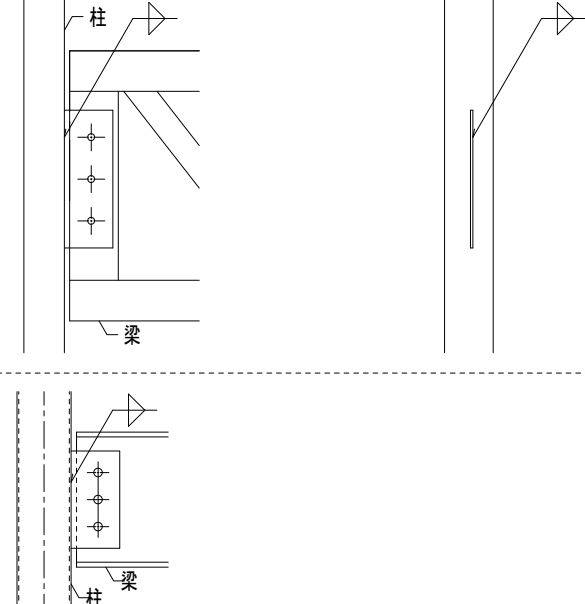
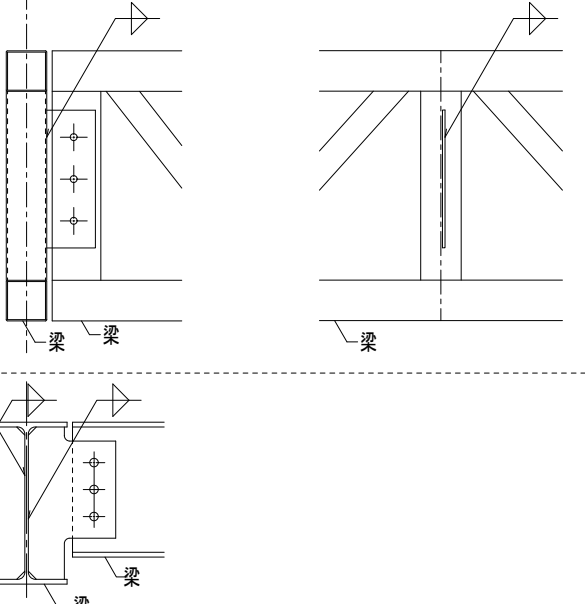
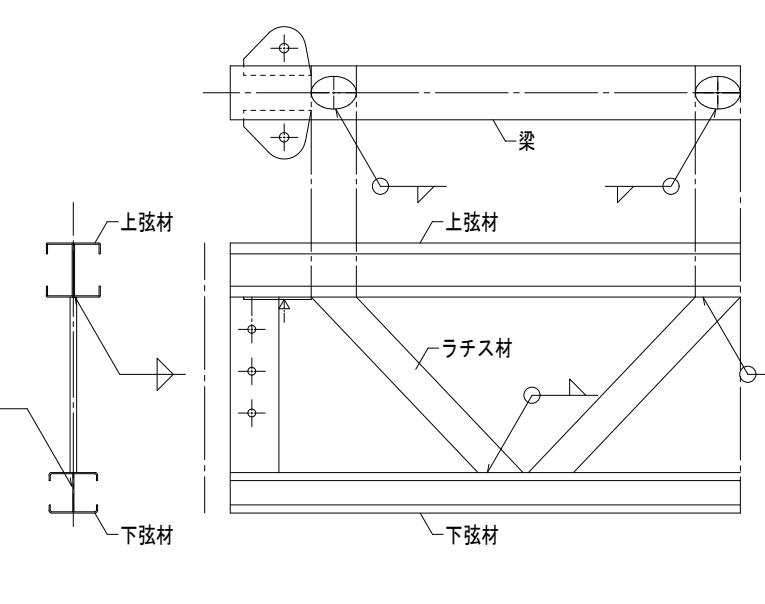
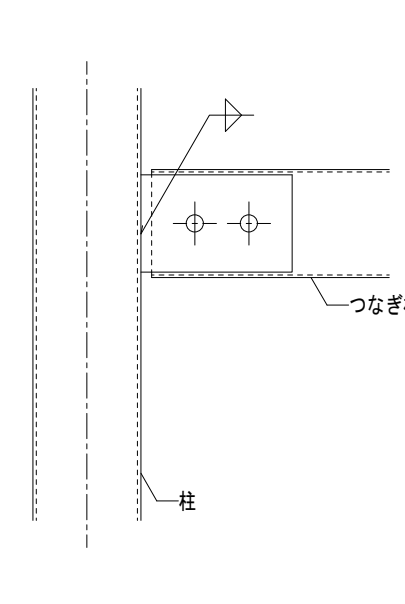
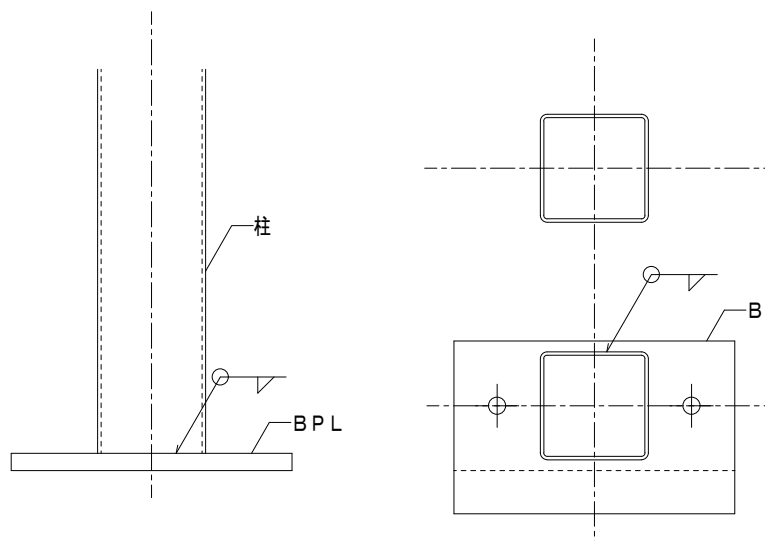
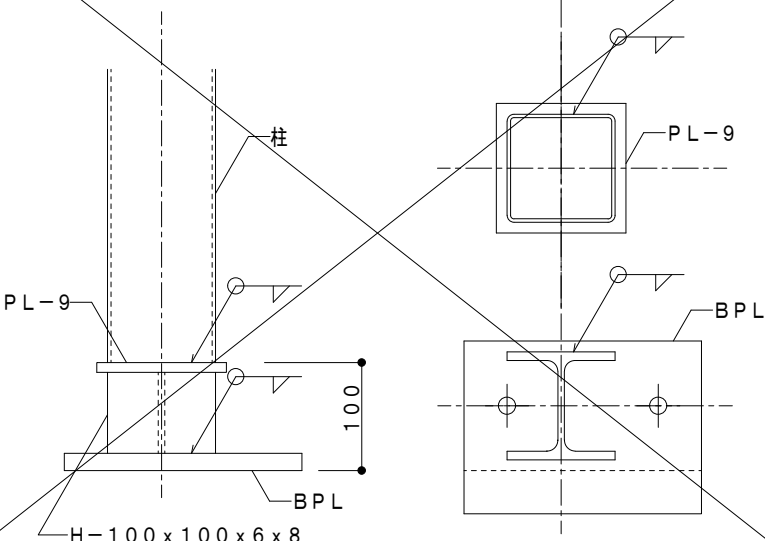
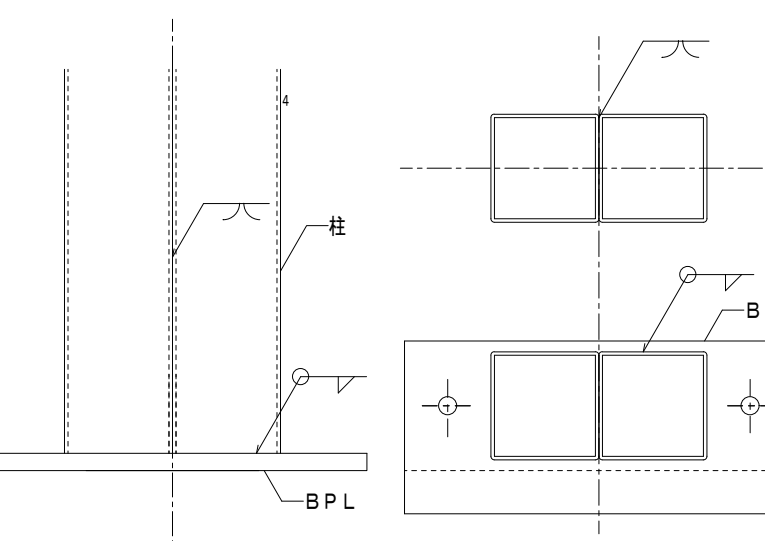
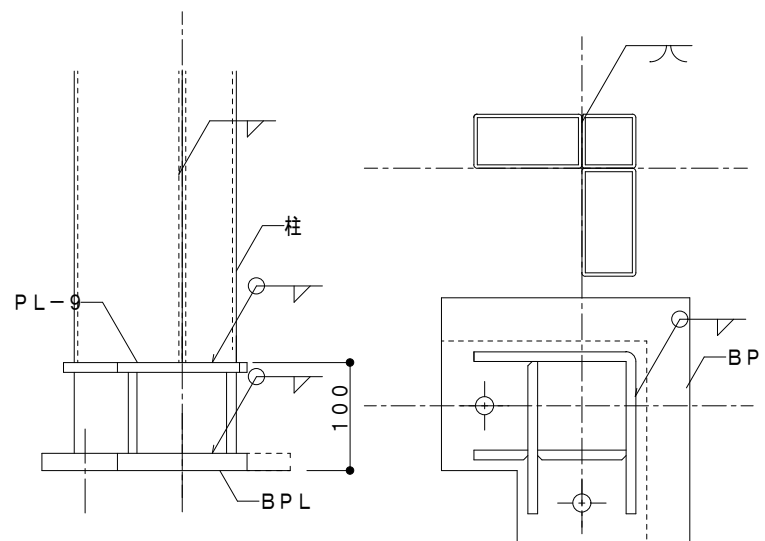
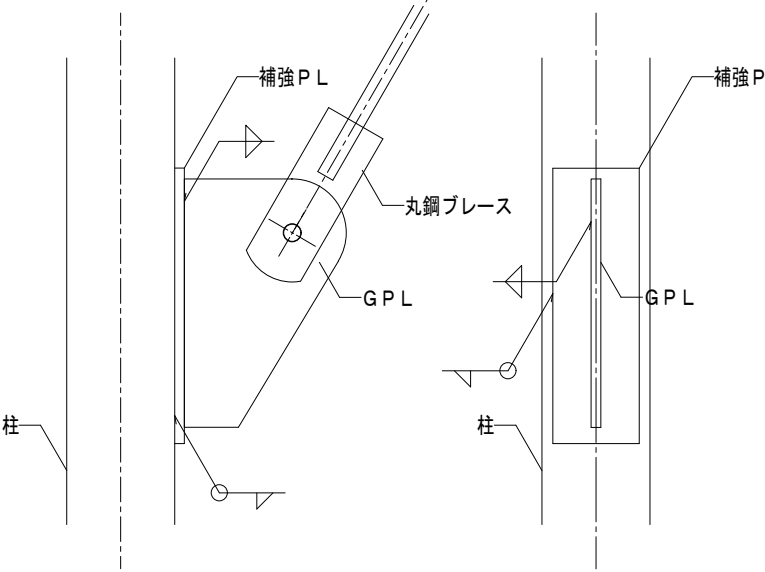
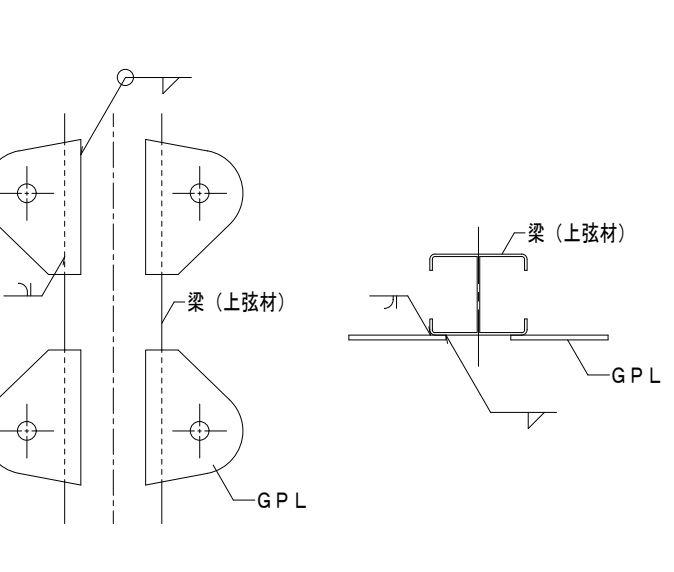
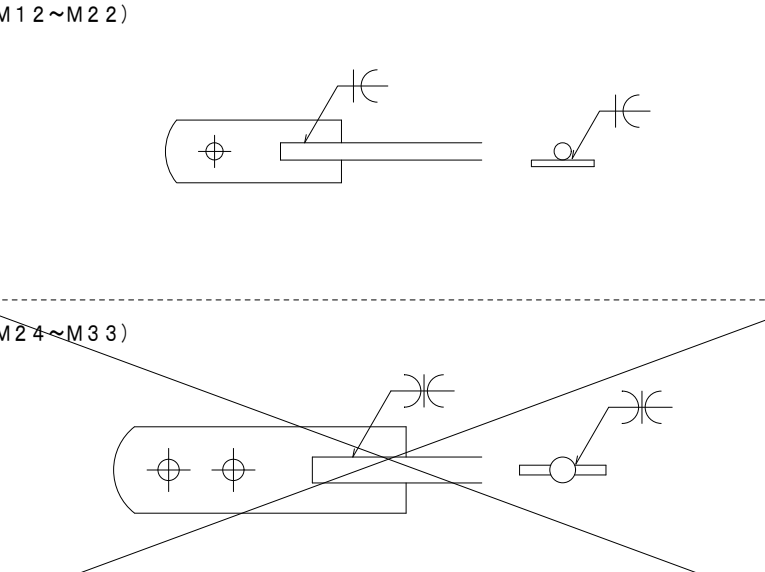
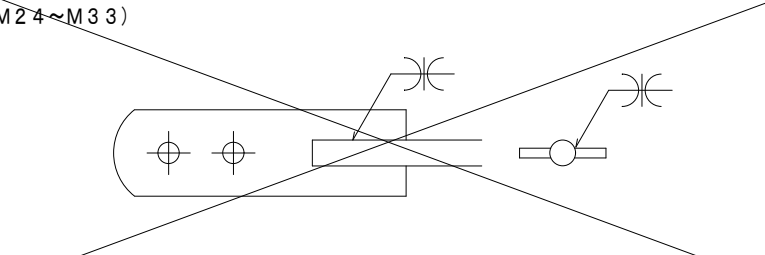
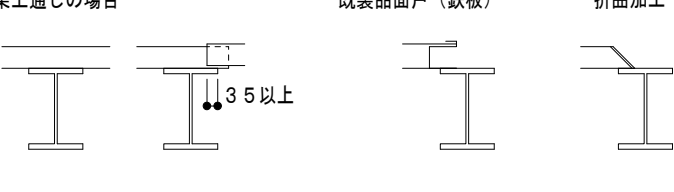
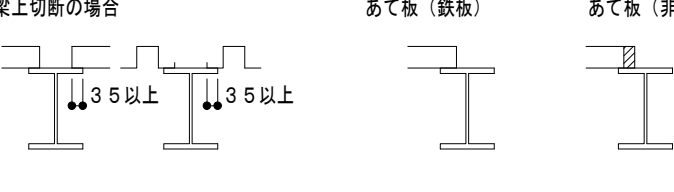
150 < φ ≤ 250

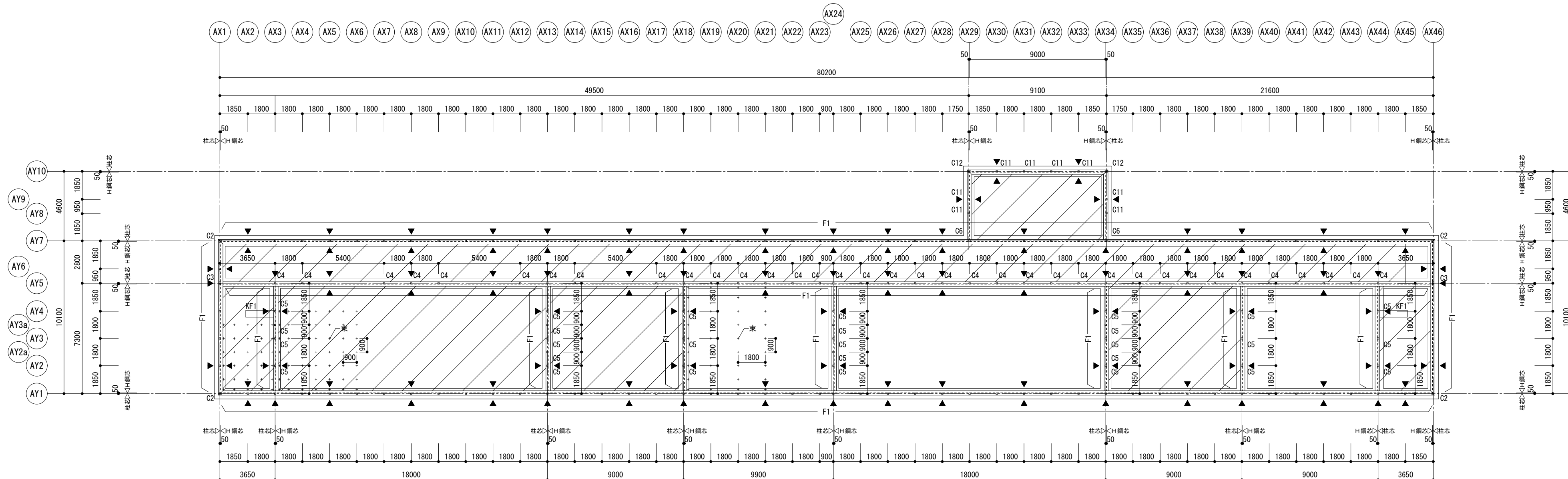
・単配筋の場合  
斜筋 4-D13  
縦筋 ST D10@100  
横筋 2-D13

・複配筋の場合  
斜筋 2-(4-D13)  
縦筋 ST 2-D10@100  
横筋 2-(2-D13)

ただし、φ ≤ 梁成/3とする。  
 ・250φ以上の開口部を設ける場合は、特記による。  
 ・認定品を使用できるのは複配筋の場合のみとし、仕様はメーカーの仕様による。  
 ※認定品とはウェブレン、リンプレン同等品とする。

<p>溶接部の余盛高さ</p> <p>隅肉溶接</p>  <p><math>0 \leq \Delta a \leq 0.4S</math> かつ <math>\Delta a \leq 4</math></p>	<p>溶接部の寸法許容差</p> <p>アンダーカット</p>  <p>前面隅肉溶接、側面隅肉溶接 <math>e \leq 0.3</math></p> <p>ただし、アンダーカット部分の長さの総和が溶接部分全体の長さの10%以下であり、かつ、その断面が鋭角的でない場合は、そのアンダーカットの深さeを1mm以下とする事ができる。 上記は「鉄骨造の継手又は仕口の構造方法を定める件」（平成12年5月31日建設省告示第1464号）による。</p>	<p>孔径</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ボルトの種類</th> <th>孔径 D</th> <th>軸径 d の範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高力ボルト</td> <td>d + 2</td> <td>d &lt; 27</td> </tr> <tr> <td></td> <td>d + 3</td> <td>d ≥ 27</td> </tr> <tr> <td>ボルト</td> <td>d + 1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アンカーボルト</td> <td>d + 5</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	ボルトの種類	孔径 D	軸径 d の範囲	高力ボルト	d + 2	d < 27		d + 3	d ≥ 27	ボルト	d + 1		アンカーボルト	d + 5		<p>接合の精度</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>図</th> <th>許容差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>孔の心ずれ e</td> <td></td> <td><math>e \leq 1\text{mm}</math></td> </tr> <tr> <td>孔相互の間隔 ΔP</td> <td></td> <td><math>-1\text{mm} \leq \Delta p \leq 1\text{mm}</math></td> </tr> <tr> <td>孔の食い違い e</td> <td></td> <td><math>e \leq 1\text{mm}</math></td> </tr> <tr> <td>孔のはしあきへりあき Δa</td> <td></td> <td><math>\Delta a 1 \geq -2\text{mm}</math> <math>\Delta a 2 \geq -2\text{mm}</math> かつ、平成12年建設省告示第1464号にある縁端距離を満足すること</td> </tr> </tbody> </table> <p>上記は、JASS6の管理許容差を示す。</p>	名称	図	許容差	孔の心ずれ e		$e \leq 1\text{mm}$	孔相互の間隔 ΔP		$-1\text{mm} \leq \Delta p \leq 1\text{mm}$	孔の食い違い e		$e \leq 1\text{mm}$	孔のはしあきへりあき Δa		$\Delta a 1 \geq -2\text{mm}$ $\Delta a 2 \geq -2\text{mm}$ かつ、平成12年建設省告示第1464号にある縁端距離を満足すること	<p>軽量C形鋼 つづり合わせ</p> <p>溶接</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材</th> <th>脚長 S</th> <th>溶接長 L</th> <th>間隔 P</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-75x45x15x2.3</td> <td>2.3</td> <td>65</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>C-100x50x20x2.3</td> <td>2.3</td> <td>75</td> <td>300</td> </tr> <tr> <td>C-100x50x20x3.2</td> <td>3.2</td> <td>75</td> <td>300</td> </tr> </tbody> </table> <p>はさみ板</p>  <table border="1"> <thead> <tr> <th>部材</th> <th>最大間隔 ≤ L</th> <th>はさみ板 a</th> <th>軸径 d</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>C-75x45x15x2.3</td> <td>600</td> <td>65</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>C-100x50x20x2.3</td> <td>600</td> <td>75</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>C-100x50x20x3.2</td> <td>600</td> <td>75</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>[-100x50x5x7.5</td> <td>600</td> <td>75</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> <p>t は仕口のGPLと同じとする</p>	部材	脚長 S	溶接長 L	間隔 P	C-75x45x15x2.3	2.3	65	300	C-100x50x20x2.3	2.3	75	300	C-100x50x20x3.2	3.2	75	300	部材	最大間隔 ≤ L	はさみ板 a	軸径 d	C-75x45x15x2.3	600	65	12	C-100x50x20x2.3	600	75	16	C-100x50x20x3.2	600	75	16	[-100x50x5x7.5	600	75	16
ボルトの種類	孔径 D	軸径 d の範囲																																																																				
高力ボルト	d + 2	d < 27																																																																				
	d + 3	d ≥ 27																																																																				
ボルト	d + 1																																																																					
アンカーボルト	d + 5																																																																					
名称	図	許容差																																																																				
孔の心ずれ e		$e \leq 1\text{mm}$																																																																				
孔相互の間隔 ΔP		$-1\text{mm} \leq \Delta p \leq 1\text{mm}$																																																																				
孔の食い違い e		$e \leq 1\text{mm}$																																																																				
孔のはしあきへりあき Δa		$\Delta a 1 \geq -2\text{mm}$ $\Delta a 2 \geq -2\text{mm}$ かつ、平成12年建設省告示第1464号にある縁端距離を満足すること																																																																				
部材	脚長 S	溶接長 L	間隔 P																																																																			
C-75x45x15x2.3	2.3	65	300																																																																			
C-100x50x20x2.3	2.3	75	300																																																																			
C-100x50x20x3.2	3.2	75	300																																																																			
部材	最大間隔 ≤ L	はさみ板 a	軸径 d																																																																			
C-75x45x15x2.3	600	65	12																																																																			
C-100x50x20x2.3	600	75	16																																																																			
C-100x50x20x3.2	600	75	16																																																																			
[-100x50x5x7.5	600	75	16																																																																			

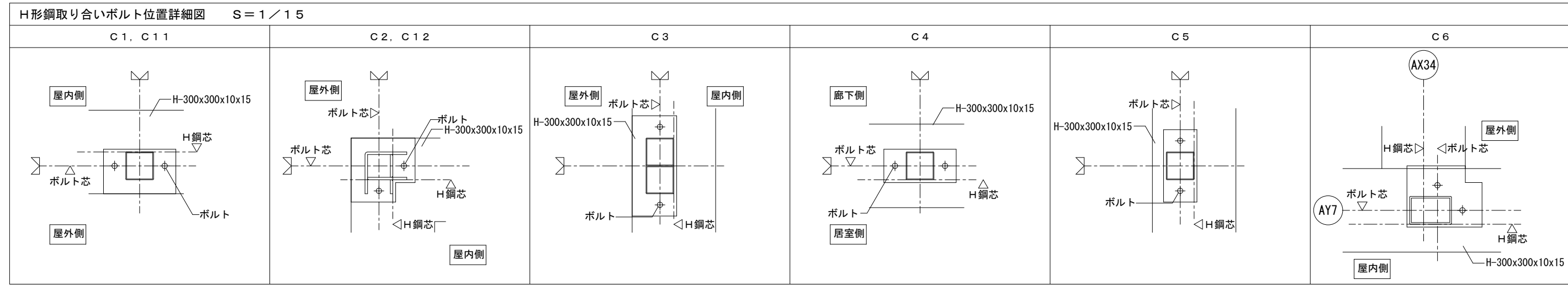
<p>溶接基準図</p> <p>柱~梁</p> 	<p>梁~梁</p> 	<p>梁（組立部材）~ラチス材</p> 	<p>柱~桁つなぎ、妻梁材</p> 	
<p>柱~ベースプレート（一般柱）</p> 	<p>柱~ベースプレート（開口部臨柱）</p> 	<p>柱~ベースプレート（妻側連棟柱）</p> 	<p>柱~ベースプレート（角柱）</p> 	
<p>柱~鉛直ブレース</p> 	<p>梁~水平ブレース</p> 	<p>丸鋼ブレース</p> <p>(M12~M22)</p>  <p>(M24~M33)</p> 	<p>デッキプレート</p> <p>受梁へのかかり寸法及び端部処理</p> <p>梁上通しの場合</p>  <p>梁上切断の場合</p> 	



仮設校舎A棟 基礎伏図 S=1/200

- 特記なき限りは、下記とする。
- 柱は、C1とする。
  - ▶ は、H鋼基礎アンカー位置を示す。
  - 1FL=設計GL+539
  - //// は、床束ピッチを@900×900とする。

その他は、@1800×900とする。  
 想定床荷重5000N/m<sup>2</sup>を超える場合は、  
 改修時に補強を行う。



H形鋼取り合いボルト位置詳細図 S=1/15